A vibrant, stylized illustration of a tiger resting in a jungle. The tiger is orange with black stripes and is surrounded by large green leaves. The background is a light pinkish-grey.

外国人留学生
ハンドブック
*International Student
Handbook*
2020

R RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

目次

1. はじめに	
留学生ハンドブックについて	3
2. 学生生活	
(1) 国際教育センターについて	3
(2) 学内での相談窓口	5
(3) 国際交流	6
3. 奨学金・授業料減免	
(1) 概要	7
(2) 申請の流れ	8
(3) 授業料減免について	8
(4) 奨学金について	9
(5) 授業料減免および奨学金の申請方法について	10
(6) 奨学金受給に関する証明書について	10
(7) 奨学金一覧	11
4. 在留手続きについて	
(1) 大学による在留資格管理について	15
(2) 在留期間の更新	16
(3) 在留資格の変更	17
(4) 「みなし再入国許可」と「再入国許可申請」について	18
(5) 資格外活動許可の申請について	18
(6) 各種届出について	20
(7) 地方出入国在留管理局	22
5. 生活情報	
(1) 住居	23
(2) 国民健康保険・国民年金	26
(3) マイナンバー制度	28
(4) 緊急時の対応	29
(5) 就職活動について	30
(6) 卒業などで日本を離れる場合の手続きについて	36
(7) その他	37

Table of Contents

1. Introduction	
(1) About This Handbook	38
2. Student Life	
(1) About the International Center	39
(2) On-Campus Consultation	42
(3) International Exchange Events	43
3. Scholarships	
(1) Outline	44
(2) Application Process Flowchart	45
(3) Tuition Reduction Types	46
(4) Scholarship	47
(5) Application Procedures for Tuition Reduction and Scholarships	48
(6) Certificates of Scholarship Receipt	48
(7) List of Scholarships	49
4. Residence Procedures for Foreign Residents	
(1) Status of Residence at Ritsumeikan University	54
(2) Extension of Period of Stay	56
(3) Change in Status of Residence	57
(4) Special Re-entry Permission and Re-entry Permission	58
(5) Work Permit (Permission to Engage in an Activity Other Than That Permitted under the Status of Residence Previously Granted)	59
(6) Government Reporting Obligations	60
(7) Location of Regional Immigration Bureau Offices	63
5. Information for Daily Life	
(1) Housing	64
(2) National Health Insurance and National Pension	67
(3) Social Security and Tax Number System (My Number System)	70
(4) In the Event of an Emergency	71
(5) Finding Employment	75
(6) Important Procedures When Leaving Japan	78
(7) Helpful Websites	79

1. はじめに

留学生ハンドブックについて

この「留学生ハンドブック」には、立命館大学に留学されたみなさんが充実した留学生活を送るための大切な情報を掲載しています。学生生活に積極的に活用してください。

みなさんは立命館大学で日本人学生や他の留学生と一緒に授業を受け、同じように学生生活を送ります。母国と日本との制度・習慣などの違いにより、分からないことや困ったことも出てくると思いますが、その際は学びステーションや国際教育センターに気軽に相談してください。

自分自身の留学の目的を達成するために、計画的に行動し有意義な学生生活を送りましょう。

2. 学生生活

(1) 国際教育センターについて

1) 場所・開室時間

<衣笠国際教育センター> 〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1
立命館大学衣笠キャンパス 明学館1階
TEL 075-465-8230 FAX 075-465-8160

<BKC国際教育センター> 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
立命館大学びわこ・くさつキャンパス セントラルアーク2階
TEL 077-561-3946 FAX 077-561-3956

<OIC国際教育センター> 〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150
立命館大学大阪いばらきキャンパス A棟1階AN事務室内
TEL 072-665-2070 FAX 072-665-2079

E-mail ru-inter@st.ritsumeai.ac.jp

平日（月～金）10：00～17：00（11：30～12：30は昼休憩のため閉室）

※ 毎週水曜日の午前中は閉室

※ 長期休暇期間中は開室時間が13：00～17：00に変更されます

2) 国際教育センター窓口で相談できること

学生生活について	在留資格の更新・変更・申請（主に復学・再入学時） ……P. 15参照
	資格外活動許可、アルバイトに関すること ※斡旋は行っていない
	国民健康保険料の補助申請 ……P. 27参照
奨学金について	留学生を対象とした奨学金への応募 ……P. 7参照
国際交流行事について	地方自治体、交流団体が行う行事への申し込み、情報提供 ……P. 6参照
海外留学について	大学の実施する海外留学プログラムへの応募、情報提供

<留学生支援コーディネーター>

留学生のみなさんが、日常生活で分からないことや日本の生活で悩みごとがある場合は、留学生支援コーディネーターが相談に乗ります。留学生支援コーディネーターは各キャンパスの国際教育センターに常駐していますので、遠慮なく窓口まで相談にお越しください。

3) 国際教育センターからの大切なお願い

下記のような場合について、速やかに所属キャンパスの国際教育センター等に届け出をしてください。

在留期間の更新／ 在留資格変更後の届出	<u>在留期間を更新した場合や、在留資格を変更した場合</u> 所属キャンパスの国際教育センターへ届け出てください。
携帯電話の契約／ 電話番号変更の届出	<u>入学後、携帯電話を契約した場合</u> manaba+Rへログイン後、CAMPUS WEBへアクセスして電話番号の登録をしてください。 <u>携帯電話や自宅の電話番号を変更した場合</u> manaba+Rへログイン後、CAMPUS WEBへアクセスして電話番号の登録を修正し、所属学部/研究科と所属キャンパスの国際教育センターへ届け出てください。 奨学金や在留資格に関する問い合わせなど、重要な連絡をすることがあります。
住所変更の届出	<u>住所を変更した場合</u> 現住所に変更があった場合は必ずmanaba+Rへログイン後、CAMPUS WEBへアクセスして登録住所を修正し、学びステーションへ届け出てください。奨学金に関する書類や学費納付書、その他の重要な書類を郵便で送ることができます。所定の手続で本人現住所と学費請求先住所を変更しなかった場合、学費請求書が正しく郵送されません。また、住居地の市（区）役所で国民健康保険や住所変更の諸手続を行ってください。手続後、在留カードの両面コピーを所属キャンパスの国際教育センターに提出してください。
一時出国届の提出	<u>日本を出国する場合</u> 所属キャンパスの国際教育センターへ一時出国届を提出してください。自然災害やテロの発生時に大学からみなさんへ安否の確認をします。
学籍異動（休学・復学・退学）に関する届出	<u>学籍異動が発生する場合</u> 休学・復学・退学などを希望し、学籍異動が発生する場合は、すみやかに学部事務室（OICは学びステーション）と所属キャンパスの国際教育センターに連絡をしてください。

みなさんが大学生生活を送る上で大切な情報については、以下の通りお知らせしています。各自で必要な情報を見逃さないようにしてください。

manaba+R	<p><u>必要な情報を入手するために</u></p> <p>学生への情報提供・連絡は基本的にmanaba+Rで行います。</p> <p>manaba+Rは、必ず各自で確認をしてください。</p>
留学生メーリングリスト・学内アドレスに届くメールの確認	<p><u>国際教育センターからメールを受け取った場合</u></p> <p>manaba+Rの補助的役割として、留学生メーリングリスト(mlst-inter-jp@ml.ritsume.ac.jp)や奨学金メール(rscholar@st.ritsume.ac.jp)などで奨学金、授業料減免、国際交流企画などの情報を提供しています。留学生のメーリングリストは学内のメールアドレスに届きますので各自で確認をして下さい。</p> <p>※留学生メーリングリストが届かない場合は、すみやかに所属キャンパスの国際教育センターに届け出てください。</p>

(2) 学内での相談窓口

相談内容	相談窓口	備 考
学生証を再発行したい	学びステーション	手数料（2,000円）がかかります
引越をしたので住所変更を届け出たい 電話番号を変更したので届け出たい	学びステーション manaba+R	manaba+Rへログイン後、CAMPUS WEBへアクセスして登録を修正してください。住居地の市（区）役所で在留カードの住所変更手続き後国際教育センターへ在留カードの両面コピーを提出してください
各種証明書が欲しい (成績証明書・在学証明書など)	証明書自動発行機 または 学びステーション	奨学金受給証明書は各キャンパスの国際教育センターへ
授業に関することを相談したい (受講登録・履修相談など)	(衣笠・BKC)学部／研究科事務室 (OIC) 学びステーション	
休学・復学・退学したい	(衣笠・BKC)学部／研究科事務室 (OIC) 学びステーション および 国際教育センター	
在留資格について相談したい	国際教育センター	
国民健康保険料の補助を申し込みたい	国際教育センター	
事件・事故に巻き込まれた/ 起こしてしまった	学生オフィス、国際教育センター	
アルバイトのため資格外活動許可 をとりたい	国際教育センター	居住地の地方出入国在留管理局に 自身で申請を行うこと
卒業後の進路について相談したい	キャリアセンター	
体調が悪い、健康について相談したい	保健センター	
カウンセリングを受けたい	学生サポートルーム (学生オフィス)	
学内で忘れ物や落とし物をした	キャンパスインフォメーション	

※ 朱雀キャンパスの留学生の窓口は、朱雀独立研究科事務室です。内容によって衣笠国際教育センター
が対応する場合もありますが、まずは朱雀独立研究科事務室に相談してください。

(3) 国際交流

1) 国際教育センター主催の留学生関連イベント(予定)

時期	イベント
3月	春期入学生オリエンテーション
5月	新入留学生歓迎企画
9月	秋期入学生オリエンテーション
10月	秋の国際交流企画(京都・滋賀などの名所訪問)
11月	国際交流バスツアー
12月	冬の国際交流企画(異文化フェスティバル)

※ 上記は主に国際教育センターや留学生チューター(TISA)が行う行事です。この他にも地方自治体や様々な団体が国際交流を行っており、大学へ案内がきます。行事のお知らせや募集があれば、留学生のメーリングリストでお知らせします。

2) 学内の国際交流の場

立命館大学では、2018年度より「Beyond Borders Plaza」(BBP)を開設しました。「BBP」は日常的な国際交流、言語学習の場として利用でき、留学・国際交流関連イベントや留学生対象の説明会などの行事が行われています。日本・日本文化関連資料も用意され、海外のニュース番組視聴やコンピュータの利用も可能です。また、留学希望の学生向けに、海外大学資料やビデオ、海外留学関係書籍・雑誌などが用意されています。様々な交流会等も実施しますので、ぜひ参加してください。

3) 留学生チューター(TISA)

本学の在学学生(主に学部生)が留学生チューター(TISA:Tutors for International Students Assembly)として、留学生の生活・学習の支援と、国際交流企画の運営を行っています。京都・滋賀・大阪の生活に関する日常生活サポートや学習支援を行っており、留学生の身近な相談役として各キャンパスで活動しています。留学生のみなさんが参加することも可能です。

4) 課外自主活動への参加

立命館大学では、約400のクラブ・サークルが活動しています。スポーツから伝統芸能まで多様な団体があり、留学生のみなさんも参加することができます。これらの課外自主活動は、活動を通じた日本人と留学生との国際交流はもちろん、練習に励んだり、チームで目標に向かって取り組んだりすることで、みなさん自身の人間的成長にもつながります。クラブ・サークルを探したい時は、学生オフィスで相談してください。(立命館大学の課外活動団体の一覧「サークルコレクション」<https://college.ritsumei.club/circle/>)

また、各学部には、オリター団(エンター団)や学部の学生スタッフなど、先輩が後輩のサポートをする組織があり、学習、学生生活、自治の面から上回生が新入生の支援を行っています。

3. 奨学金・授業料減免

(1) 概要

立命館大学には外国人留学生向けの様々な奨学金・授業料減免等の支援制度が設けられています。支援の種類は大きく分けて「授業料減免」と「大学から推薦を行う奨学金」の2種類になります。これらの支援制度への応募資格として、在留資格「留学」を必要とする場合がほとんどですが、在留資格「留学」を必要としない奨学金等もあります。これらの支援を希望する者は必ず後述する申請の手続きをしてください。奨学金等は、基本的に学業その他において活躍が認められる学生に対して与えられるものです。全ての留学生が採用されるわけではありません。また、それぞれの奨学金等には、さまざまな応募資格や条件、応募方法があり、経済的に困難であるという理由だけで奨学金等が受給できるわけではありません。申請方法を理解し、締切日等に十分に注意してください。

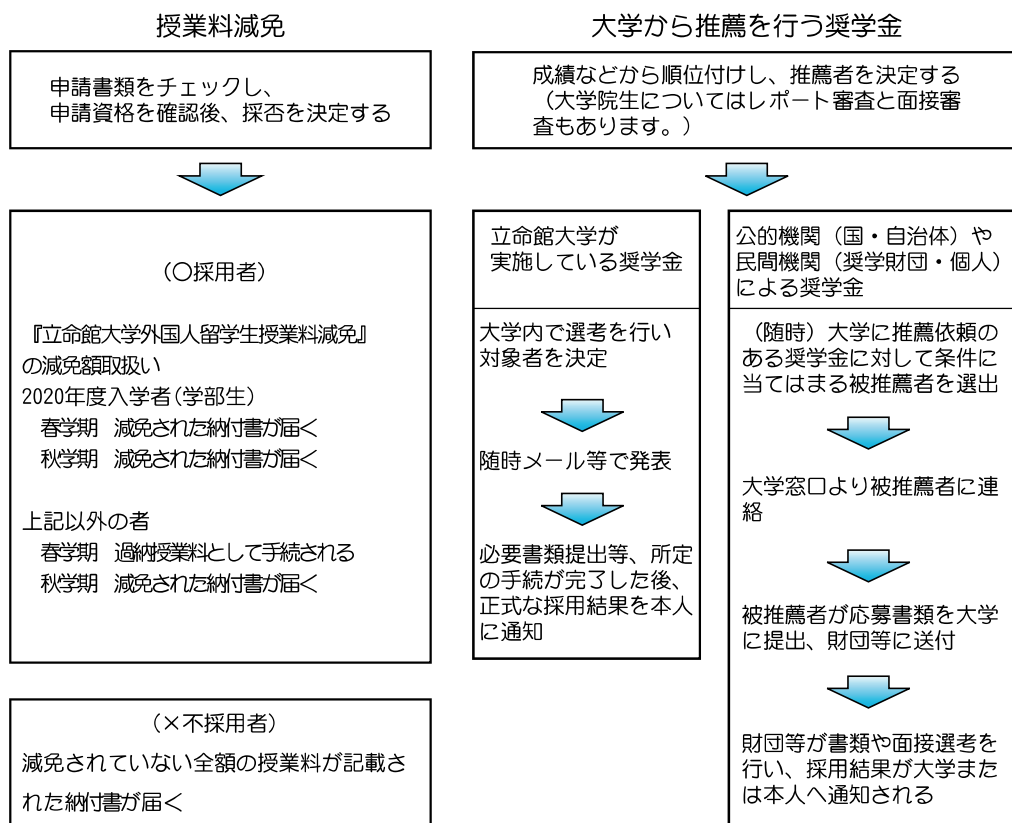
支援種別		対象者
1) 授業料減免	①立命館大学外国人留学生授業料減免	全回生 (標準修業年限以内)
2) 奨学金 (大学から推薦を行う)	②立命館大学が実施している奨学金	全回生
	③公的機関(国・自治体)や民間機関 (奨学財団・個人)による奨学金	
3) 個人で応募する奨学金(大学の推薦を必要としない)		各奨学金による
4) 入学時に決まる奨学金(大学から推薦を行う)		各奨学金による

※留学生を対象とした支援制度に関する情報は、国際教育センターからmanaba+Rや留学生メールマガジン、国際教育センターのホームページ等を通じて案内しますので、定期的に確認するようにしてください。

※国際教育センター以外で取り扱う奨学金等は、学びステーション、学生オフィス、大学院課および朱雀独立研究科事務室などに問い合わせてください。

※奨学金等の詳細は別項の奨学金一覧を参照してください。

(2) 申請の流れ



奨学金

(3) 授業料減免について

立命館大学外国人留学生授業料減免

○A0英語基準入学試験または推薦英語基準入学試験を除く入学試験により入学した者については、奨学金申請者の有資格者のうち、成績基準の上位者に授業料減免が適用され、それ以外の者については授業料減免は適用されません。

○A0英語基準入学試験または推薦英語入学試験により入学した者、大学院生については、申請者のうち、有資格者全員に授業料減免が適用されます。

○詳細は、奨学金申請要項等を確認してください。

応募資格 ○立命館大学の学部または大学院の正規課程で学籍が「在学」もしくは「留学」であること
(休学は在学ではない)

○在留資格が「留学」であること

○私費外国人留学生であること

減免期間 1年間 ※院生1種のみ標準修業年限の期間

申請時期 4月入学者：春期申請 4月上旬
9月入学者：秋期申請 10月上旬

< 共通の注意事項 >

※立命館大学外国人留学生授業料減免を希望する者は、毎年度「立命館大学私費外国人留学生奨学金申請」を行ってください。在学中に一度申請すれば、自動的に減免されるというものではありませんので、十分注意してください。

※経営管理研究科の申請者で、授業料減免採用者には、通常の学生よりも遅く請求書が届きます。

※年間授業料を全額納付した者および、秋学期入学者には、減免額を学期末以降に返還します。

※申請後、休学・退学・留学が決まった場合は速やかに各キャンパスの国際教育センターに報告してください。

※減免の選考方法については、募集要項を確認してください。

< 立命館大学留学生授業料減免・学部生 >

<p>日本語基準 ※AO英語基準入学試験 または推薦英語基準入学試験以外の 入学試験により入学した者</p>	学部生Ⅰ種（授業料の100%減免）：有資格の申請者の上位10%以内
	学部生Ⅱ種（授業料の50%減免）：有資格の申請者のⅠ種に次ぐ上位10%以内
	学部生Ⅲ種（授業料の20%減免）：有資格の申請者のⅠ種・Ⅱ種に次ぐ上位50%以内
<p>英語基準 ※AO英語基準入学試験 または推薦英語基準入学試験に よって入学した者</p>	学部生Ⅰ種（授業料の100%減免）：有資格の申請者の上位10%以内
	学部生Ⅱ種（授業料の50%減免）：有資格の申請者のⅠ種に次ぐ上位10%以内
	学部生Ⅲ種（授業料の20%減免）：Ⅰ種・Ⅱ種に次ぐ有資格の申請者

< 立命館大学外国人留学生授業料減免・大学院生 >

全研究科	院生Ⅰ種（授業料の100%減免）：入試合格時に決定します
	院生Ⅱ種（授業料の20%減免）：Ⅰ種を除く有資格の申請者

（4）奨学金について

1) 大学から推薦を行う奨学金

大学から推薦を行う奨学金は、「立命館大学が実施している奨学金」と「公的機関（国・自治体）や民間機関（奨学財団・個人）による奨学金」があります。また、奨学金の一覧はP. 10-13の「（7）奨学金一覧」で確認してください。奨学金によって、支給期間や支給額が異なります。

2) 個人で応募する奨学金

個人で応募する奨学金（大学の推薦を必要としない）に関する情報が大学に届いた場合は、随時国際教育センターからmanaba+Rやメール、国際教育センターのホームページ等を通じて案内します。また、それ以外にも独自に募集、選考を行う奨学金もありますので、財団ホームページ等を確認をしてください。

※個人で奨学金等に応募した場合、必ず国際教育センターに届け出てください。

じゅぎょうりょうげんめん しょうがくきん しんせいほうほう (5) 授業料減免および奨学金の申請方法について

授業料減免と奨学金の申請方法については、manaba+Rやメール、国際教育センターのホームページ等を通じて確認をしてください。

しょうがくきんじゅきゆう しょうめいしょ (6) 奨学金受給に関する証明書について

在留資格の更新やパスポートの更新等で、奨学金を受給している証明書が必要な場合は、国際教育センターで有料で取得することができます。

- 1) 申請方法：各キャンパスの国際教育センターで「証明書交付申請書」に必要事項を記入して証紙を添えて申請してください。申請受付時間は窓口開室時間内です。
- 2) 受け取り方法：窓口または郵送
- 3) 発行のための所要日数：申し込みから1週間程度
※証明書の種類によっては更に日数がかかる場合があります。
- 4) 発行手数料：1通 200円
- 5) 発行する証明書：授業料減免証明書、国費外国人留学生証明書、文部科学省外国人留学生学習奨励費受給証明書、ADB-JSP奨学金受給証明書

奨
学
金

しょうがくせいいちらん
(7) 奨学金一覧

◆授業料減免・奨学金一覧（2019年度の推薦・新規採用の実績）

* 募集期間の春期と秋期は、奨学金申請の期間を表しています。

1) 授業料減免

授業料減免名称	応募資格(2019年度実績)					日本語能力	授業料減免条件		2019年度 募集期間
	学部/院	専攻	回生	国・地域	年齢		金額	期間	
立命館大学 私費外国人留学生	学 部	—	—	—	—	—	授業料の一部減免 (詳細は当該項参照)	1年	春 / 秋期
	大学院							1年※1種のみ 標準修業年限	

2) 立命館大学が実施している奨学金

奨学金名称	応募資格(2019年度実績)※特記事項のみ					日本語能力	奨学金条件		2019年度 募集期間	2019年度 推薦人数	2019年度 採用実績
	学部/院	専攻	回生	国・地域	年齢		金額	期間			
安藤百福留学生奨学金	学 部			アジア 諸国	30歳未満		年額 1,000,000 円	1年	春期	2名	2名
	大学院									2名	2名
学校法人立命館教職員による 留学生支援金	学 部						年額 250,000 円	1年	春期	17名	10名
	大学院									7名	7名
立命館大学父母教育後援会 留学生支援奨学金	学 部						年額 250,000 円	1年	春期	20名	20名

3) 民間・公的機関による奨学金（大学で推薦を行うもの）（参考）

この情報は過年度の奨学金の募集等をまとめたものです。

2020年度に新たに募集があるかについては、民間・公的機関の予定によります。

公募と書かれているものも、奨学金申請の手続きをしないと応募できないものがあります。

奨学金名称	応募資格(2019年度実績)※特記事項のみ					日本語能力	奨学金条件		2019年度 募集期間	2019年度 推薦人数	2019年度 採用実績
	学部/院	専攻	回生	国・地域	年齢		金額	期間			
文部科学省私費外国人留学生 学習奨励費 (12か月採用)	学 部						月額 48,000 円	1年	春期	7名	7名
	大学院									3名	3名
旭硝子財団	大学院	医・歯・ 薬(6年制) 獣医学以外	M1・D1	タイ インドネシア 中国・韓国		要	月額100,000円	標準修業 年限内	春期	1名	1名
アジア国際交流奨学財団 留学生奨学金 (川口静記念奨学生)	学 部			アジア 諸国	30歳未満	要	月額 60,000 円	1年	秋期	1名	0名
	大学院				35歳未満		M 月額 60,000 円			1名	0名
							D 月額 70,000 円				
味の素奨学会	大学院	食・栄養・ 保健分野 (理系)		アジア・ 南米・ アフリカ	30歳未満	要	月額 150,000 円	最長2年	春期	1名	0名
岩谷国際留学生奨学助成	大学院	自然科学系 および 関連分野		東アジア・ 東南アジア 諸国	M30歳未満	要	月額 150,000 円	1年	秋期	1名	0名
					D35歳未満					1名	0名
市川国際奨学財団 外国人留学生（春募集）	学 部			アジア 諸国	35歳未満	要	月額 100,000 円	2年	秋期	0名	0名
	大学院									4名	1名
市川国際奨学財団 外国人留学生（秋募集）	学 部			アジア諸国	35歳未満	要	月額100,000円	1年	春期	2名	1名
	大学院									0名	0名

奨学金名称	応募資格(2019年度実績)※特記事項のみ					日本語能力	奨学金条件		2019年度募集期間	2019年度推薦人数	2019年度採用実績
	学部/院	専攻	回生	国・地域	年齢		金額	期間			
大塚敏英育英奨学財団	大学院	経営学、医学・薬学に関連深い工学		アジア・アラブ(中東・アジア)諸国	38歳以下		年額2,000,000円、1,500,000円または1,000,000円	1年	秋期	2名	
加藤朝雄国際奨学財団奨学金	大学院			アジア諸国	M30歳以下 D35歳以下	要	M月額 130,000 円 D 月額 150,000 円	2年	秋期	2名	1名
かめのり財団アジア大学院留学生奨学金	大学院	人文科学及び社会科学	新M1 新D1	中国・韓国・台湾を除くアジア諸国		要	月額200,000円	標準修業年限	秋期	推薦依頼なし	
共立国際交流奨学財団奨学金	大学院		D1等	アジア諸国		要	月額100,000円	2年	秋期	1名	0名
共立メンテナンス奨学基金奨学金	学 部		1～3回生	アジア諸国		要	月額 60,000 円	1年	秋期	1名	0名
KDDI財団外国人留学生助成	大学院	※ 1			35歳以下		月額100,000円	6ヶ月または12ヶ月	春期	1名	1名
国際日本文化研究交流財団	大学院	京都府内の博士課程後期課程在学者	D1～3			要	月額100,000円	最長3年	春期	0名	0名
小林財団外国人留学生奨学金	学 部 大学院		3・4回生	アジア諸国	35歳以下	要	月額 150,000 円 月額 180,000 円	標準修業年限内	秋期	1名 0名	1名 0名
SGH財団(旧佐川留学生奨学財団)私費外国人留学生奨学金	学 部 大学院		新 3 回生 新M・新D	ASEAN諸国	27歳以下 35歳以下	要	月額 100,000 円	2年	秋期	0名 0名	0名 0名
佐藤陽国際奨学財団私費外国人留学生奨学金(秋募集)	学 部 大学院			中国、韓国、台湾を除くアジア諸国		要	月額 150,000 円 月額 180,000 円	2年	春期	1名 1名	1名 0名
佐藤陽国際奨学財団私費外国人留学生奨学金(春募集)	学 部 大学院		新入生のみ	中国、韓国台湾を除くアジア諸国		要	月額150,000円 月額180,000円	2年 標準修業年限+0.02のみ中間審査あり	秋期	0名	0名
JEES修学奨学金(旧JEES一般奨学金)	学 部 大学院					要	月額30,000円	最長2年	春期	1名	1名
JEES日本語教育普及奨学金(日本語能力試験)	学 部 大学院	※2				要	月額50,000円	最長2年	4月頃公募	5名	1名
JEES日本語教育普及奨学金(日本語教育能力検定試験)	学 部 大学院	※3				要	月額50,000円	最長2年	4月頃公募	0名	0名
JEES日本語教育普及奨学金(少数受入国)	学 部 大学院			指定された少数受入国		要	月額50,000円	最長2年	4月頃公募	0名	0名
JTグローバル奨学金(旧JTアジア奨学金)	大学院			指定されたアジア諸国	35歳未満	要	月額150,000円	最長2年	秋期	2名	1名
生命保険協会留学生奨学金	学 部 大学院	※ 4	新 3 回生 新M 1	指定されたアジア諸国		要	月額100,000円	2年	秋期	2名 0名	0名 0名
朝鮮奨学会大学・大学院奨学生	学 部 大学院			韓国または朝鮮籍	30歳未満 40歳未満	要	月額 25,000 円 M月額 40,000 円 D月額 70,000 円	1年	春期	2名 0名	1名 0名
京都市国際交流協会張鳳俊(チャンボンジュン)奨学基金	学 部 大学院	京都市内の大学在籍者	2回生以上	指定されたアジア諸国の者		要	月額 50,000 円	1年	春期	1名	0名
ドコモ留学生奨学金	大学院	通信技術情報処理分野※5	M 1	指定されたアジア諸国		要	月額 120,000 円	2年	公募	2名	0名
T. パナージインド留学生奨学金	学 部 大学院			インド			月額 100,000 円	標準修業年限内	秋期	1名	1名
大遊協国際交流・援助・研究協会	学 部 大学院	大阪府下に居住し且つ01C在籍者	1回生 M1・D1			要	月額 50,000 円 月額 70,000 円	標準修業年限内	秋期	1名 1名	1名 0名

奨学金名称	応募資格(2019年度実績)※特記事項のみ					日本語能力	奨学金条件		2019年度募集期間	2019年度推薦人数	2019年度採用実績
	学部/院	専攻	回生	国・地域	年齢		金額	期間			
豊田通商留学生奨学金	学 部	経済、法律等の社会科学、人文科学及び理工学	3回生			要	月額100,000円	2年	秋期	2名	0名
西村奨学財団	学 部	大阪府内居住者	3回生	アジア諸国の者		要	月額120,000円	標準修業年限	春期	2名	2名
	大学院		M1・D1							0名	0名
日揮・実吉奨学会	大学院	理工学				要	年額250,000円	1年	春期	1名	1名
橋本循記念会奨学生	学 部	人文科学		東アジア諸国		要	月額100,000円	標準修業年限内	春期	2名	0名
	大学院									2名	1名
橋谷奨学会奨学生	学 部			インドネシア		要	月額100,000円	標準修業年限内	春期	0名	0名
服部国際奨学財団奨学生	学 部			ASEAN諸国	30歳未満	要	月額100,000円	2年	秋期	0名	0名
	大学院				M35歳未満 D40歳未満					0名	0名
バル井上財団	学部		2回生以上			要	月額25,000円	1年	春期	1名	1名
滋賀県国際協会 びわこ奨学生	学 部	滋賀県内に居住し且つBKC在籍者				要	月額20,000円	1年	春期	3名	0名
	大学院									1名	1名
ヒロセ国際奨学財団 外国人留学生奨学生	学 部			アジア諸国	35歳以下	要	月額150,000円	1年 (延長有)	秋期	0名	0名
	大学院						月額200,000円			0名	0名
平和中島財団 外国人留学生奨学生 (中島健吉記念奨学金)	学 部					要	月額100,000円	1年	9月頃公募	1名	0名
	大学院									0名	0名
三菱商事留学生奨学金	学 部		3・4回生				月額100,000円	標準修業年限内	秋期	3名	2名
	大学院						月額150,000円			2名	0名
安田奨学財団(一般枠)	学 部	法学 経済学 経営学	新2回生			要	月額100,000円	最長3年	秋期	6名	1名
安田奨学財団(スポーツ枠)	学 部	※6	1~3回生			要	月額100,000円	標準修業年限	4月頃公募	0名	0名
ユアサ留学生奨学金	大学院			東アジア 東南アジア 地域諸国		要	月額100,000円	標準修業年限	秋期	1名	1名
ロータリー米山記念奨学生	学 部		新3・4回生			要	月額100,000円	標準修業年限内	9月頃公募	4名	2名
	大学院		新M1・2 新D2・3		45歳未満		月額140,000円			2名	2名

- ※1 法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野において情報通信またはこれと関連する事項をテーマとした研究に取り組んでいる者。
 ※2 日本語指導者養成に密接な分野を専攻し、前年度日本国内で実施した日本語能力試験N1を受験し基準点以上の成績を修めた者。
 ※3 前年度実施された日本語教育能力検定試験を受験し合格した者。
 ※4 金融業界、特に生命保険に関心のある者。
 ※5 通信技術、情報処理技術及びその関連部門を専攻する者。人文社会学部部門を専攻する者は、研究に「通信・情報処理」が活用されていると大学が認めた者。
 ※6 大学公認の運動部に所属し真摯な取り組み姿勢が感じられ、今後の成果が期待できる者。

- ・奨学金条件、その他は変更になる場合があります。
- ・日本語能力の欄に要とあるものは、日本語能力が求められます。

4) 個人で応募するもの（大学の推薦を必要としないもの）
※各財団のホームページより募集要項をよく確認してください。

奨学金名称	応募資格(2019年度)※特記事項のみ					日本語能力	奨学金条件		募集期間
	学部/院	専攻	回生	国・地域	年齢		金額	期間	
大塚敬英育英奨学財団	大学院	※1				要	年額 2,000,000 円、1,500,000 円 もしくは 1,000,000 円 (併給の場合年額 500,000 円)	1 年	4～5 月頃
日本台湾交流協会	大学院			台湾	1985年 4月2日以降に 出生した者		月額 144,000 円～145,000 円	標準修業 年限	9～10 月
似鳥国際奨学財団奨学金	学 部 大学院		2～4回生 M1・2のみ			要	月額 110,000 円	1 年	8～11 月
東華教育文化交流財団	学 部 大学院		3・4回生 全回生	中国 (台湾、 マカオ、 香港含む)			月額 100,000 円	1 年	10 月
日本友好協会 アリアケジャパン奨学金 (名称変更)	大学院	※1		中国	1989年 4月2日以降に 出生した者		月額 70,000 円	1 年	11 月
台湾同郷会奨学金	学 部 大学院			台湾		要	年額 120,000 円	1 年	9 月

※1 専攻については財団のホームページで確認してください。

※奨学金条件、その他は変更になる場合があります。
※日本語能力の欄に要とあるものは、日本語能力が求められます。詳細については、奨学金ごとに奨学金のホームページ等の確認をしてください。

5) 入学時に決まる奨学金（大学から推薦を行う）

奨学金名称	応募資格(2019年度実績)※特記事項のみ					日本語能力	奨学金条件		2019年度 募集期間	2019年度 推薦人数	2019年度 採用実績
	学部/院	専攻	回生	国・地域	年齢		金額	期間			
松下幸之助記念財団	大学院		新M1	アジア アフリカ ラテン アメリカ		要	入学金助成金300,000円 渡航費支援 奨学金月額120,000円	標準修業 年限	8月	4 名	2 名
文部科学省私費外国人 留学生学習奨励費	学 部		新入生				月額48,000円	1 年	春期	149名	149名
								6 か月	秋期	65名	65名
	大学院							1 年	春期	20名	20名
								6 か月	秋期	27名	27名

奨
学
金

4. 在留手続について

留学生のみなさんは、大学で教育を受けるという目的で日本での滞在が許可されており、日本滞在中は、「出入国管理及び難民認定法」や「住民基本台帳法」などの日本の法律に従い、下記のような手続を行う必要があります。これらの手続は、みなさんが留学生として、大学で教育を受けるにあたってとても大切なことですので、必ず正しく手続を行ってください。

てつづき しゅるい 手続の種類	とりあつかいばしょ 取扱場所
ざいりゅうかきん こうしん 在留期間の更新	じゅうきょち かんかつ ちほうしゅうつにゅうこくざいりゅうかんりきょく 居住地を管轄する地方出入国在留管理局
ざいりゅうしかく へんこう 在留資格の変更	
しかくがいかつどうきょか しんせい 資格外活動許可の申請	
さいにゅうこくきょか しんせい 再入国許可の申請	ちほうしゅうつにゅうこくざいりゅうかんりきょく 地方出入国在留管理局 (有効な在留カードを所持しており、 出国後1年以内に日本での活動を継続するために 再入国する場合は原則として不要)
じゅうみんとらく 住民登録	じゅうきょち し く やくしよ ちやうそんやくば 居住地の市（区）役所、町村役場

在留手続について

(1) 大学による在留資格管理について

1) 出入国在留管理庁と文部科学省への定期報告について

立命館大学では、在籍する外国人留学生の在留状況について出入国在留管理庁と文部科学省に定期報告を行っています。外国人留学生を受入れる機関として、受入開始（入学・転入学等）又は終了（卒業・修了・退学・除籍）した場合には、14日以内に出入国在留管理庁に届け出ることが求められているからです。そのため、学籍異動（休学や退学など）が発生したり、在留資格の変更や在留期間の更新を行った場合は、すみやかに国際教育センターに届け出てください。

2) 文部科学省からの通知による在籍確認について

上記1)での定期報告に関わり、文部科学省は2019年6月12日に全国の国公立大学に対して、「外国人留学生の在籍管理の徹底に関する新たな対応方針について」を通知しました。その中で外国人留学生については、1ヶ月以上の長期欠席者を文部科学省へ報告するよう、新たに義務付けています。

本学においても上記通知に対応する必要があり、毎月1回、外国人留学生のみなさんの在籍確認を実施しております。在籍確認の方法については、manaba+Rにて周知しておりますのでご確認ください。在籍確認に応じない外国人留学生のみなさんについては、1ヶ月以上の長期欠席者として、文部科学省へ報告することになりますので、所定の方法で手続きを行ってください。

3) 在留資格「留学」の失効について

卒業・修了・退学・除籍・休学後は在留資格「留学」のままでは日本に滞在できません。立命館大学を卒業・修了・退学・除籍・休学すると、「留学」の在留資格を失うこととなりますので、すみやかに帰国するか、日本での滞在を続ける場合は、他の在留資格に変更する必要があります。また、居住地を管轄する地方出入国在留管理局に卒業・修了・退学・除籍した日から14日以内にその旨を届け出なければなりません。（罰則規定があり、届出を行わないと更新時に不利に取り扱われる可能性があります。）

4) 在留資格取消制度について

在留資格「留学」のみなさんが、3ヶ月以上大学での学習を行っていない、もしくは卒業・修了・退学・除籍・休学となったにもかかわらず、日本での滞在を続けると、在留資格取り消しの対象となります。また、3ヶ月経過していなくても、大学で教育を受けるという活動を行ってあらず、かつ、他の活動を行っているもしくは行おうとしている場合も、在留資格取り消し制度の対象となります。在留資格が取り消されると、最悪の場合は収容された後母国に強制送還され、5年間日本への入国が出来なくなり、日本での学習再開が認められなくなりますので注意してください。退学・除籍・休学の予定がある場合は、必ず事前に国際教育センターに連絡してください。

5) 資格外活動（アルバイトなど）について

日本国内で資格外活動違反容疑により摘発を受ける留学生が増えています。アルバイトをする際は、必ず資格外活動許可書を取得し、アルバイト内容・勤務時間数など、資格外活動許可範囲内で行ってください。資格外活動許可の申請方法および注意事項についてはP. 18-19を参照してください。

6) 文部科学省の「学校基本調査」について

文部科学省は、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的として、毎年「学校基本調査」を実施しています。立命館大学でも、文部科学省の指導のもと、毎年5月1日時点で立命館大学に所属している留学生の皆さんの在留資格を確認しています。

毎年4月中旬頃、各キャンパスの国際教育センターから、みなさんに在留カード表裏のコピーの提出をお願いしています。提出されないと、正確な情報を調査に反映することができないため、留学生メーリングリストやmanaba+R等で案内があった際にはすみやかに在留カード表裏のコピーを所属キャンパスの国際教育センターに提出してください。

2) 在留期間の更新

みなさんの多くは「留学」という在留資格で在学しており、認められる在留期間は4年3ヶ月、4年、3年3ヶ月、3年、2年3ヶ月、2年、1年3ヶ月、1年、6ヶ月、3ヶ月のいずれかとなっています。したがって、多くの留学生が大学在学中に在留期間の更新をしなければなりません。在留期間の更新は、自分の在留資格の期限を確認し、（在留期間の更新は在留期間のきれる3ヶ月前から申請できます）早めに更新手続を行ってください。また、在留期間を更新した場合、すでに取得している「資格外活動許可」「再入国許可」は無効になりますので、必要な場合は再度申請手続を行ってください。

地方出入国在留管理局に提出する「在留期間更新許可申請書」の「所属機関等作成用1~2」については、大学が作成した上で大学の印を押す必要があります。在留期間更新許可申請書の「申請人等作成用1~3」を記入の上、以下の必要書類を揃え所属キャンパスの国際教育センターに申し出てください。書類作成には日数がかかる場合がありますので早めに提出するようにしてください。

〈国際教育センターに提出する書類〉

- ・「在留期間更新許可申請書」申請人等作成用1~3
- ・在留カード（表裏）のコピー
- ・学生証（表裏）のコピー
- ・個人別時間割表のコピー

① 地方出入国在留管理局への申請に必要な書類：

a. 在留資格更新許可申請書（法務省のホームページからダウンロードできます。 http://www.moj.go.jp/ONLINE/IMMIGRATION/16-3-1.html ）
b. 在学証明書
c. 成績証明書
d. パスポート
e. 在留カード
f. 写真（縦4.0cm×横3.0cmで3カ月以内に撮影したもの）
g. 手数料4,000円（在留期間更新完了時に「収入印紙」にて納付）

※個人によって提出書類が異なる場合があります。

② 下記の点に注意してください：

- ・在留期間を更新したら、すぐに国際教育センターに新しい在留カード（表裏）の両面コピーを提出してください。
- ・取得単位数が極端に少ない場合は、在留期間の更新が認められず、日本に滞在できなくなる場合があります。

ざいりゅうしかく へんこく (3) 在留資格の変更

1) 在留資格「留学」への変更

大学の学部・大学院に在籍する留学生は、原則として「留学」の在留資格を取得することになっています。他の在留資格から「留学」の在留資格に変更する場合は、地方出入国在留管理局に提出する「在留資格変更許可申請書」の「所属機関等作成用1～2」について、大学が作成した上で大学の印を押す必要があります。以下の書類を揃えて国際教育センターに申し出てください。

〈国際教育センターに提出する書類〉

- ・「在留資格変更許可申請書」申請人等作成用1～3
- ・在留カード（表裏）のコピー ・学生証（表裏）のコピー ・個人別時間割表のコピー

① 地方出入国在留管理局への申請に必要な書類：

a. 在留資格変更許可申請書（法務省のホームページからダウンロードできます。 http://www.moj.go.jp/ONLINE/IMMIGRATION/16-2-1.html ）
b. 在学証明書
c. 成績証明書
d. パスポート
e. 在留カード
f. 写真（縦4.0cm×横3.0cmで3カ月以内に撮影したもの）
g. 手数料4,000円（在留資格変更完了時に「収入印紙」にて納付）

② 下記の点に注意してください：

- ・現在取得している在留資格や個人の在留状況等によって必要書類が異なる場合があります。
- ・現在取得している在留資格によっては変更が認められないものがありますので、地方出入国在留管理局に問い合わせてください。
- ・在留資格の変更が完了したら、すぐに国際教育センターに新しい在留カード（表裏）の両面コピーを必ず提出してください。

2) 「留学」以外の在留資格について

「留学」以外の在留資格の場合、授業料減免や留学生対象の多くの奨学金、国民健康保険料補助などの援助制度の対象外となります。在学中に「留学」以外の在留資格を有する場合、または「留学」から他の在留資格へ変更する場合は国際教育センターへ事前に相談してください。

3) 就労可能な在留資格への変更

「留学」の在留資格をもつ学生が日本での就職が決まった場合、在留資格を就労可能な在留資格に変更する必要があります。「留学」から就労可能な在留資格への変更については、各自で地方出入国在留管理局に相談してください。

(4) 「みなし再入国許可」と「再入国許可申請」について

在留期間中に帰国や海外旅行などで、一時的に日本を離れる場合には、「みなし再入国許可」か「再入国許可」のいずれかを申請してください。「みなし再入国許可」か「再入国許可」を受けておけば、再び日本に入学するとき、新たな在留資格の取得が免除されます。「みなし再入国許可」もしくは「再入国許可」を受けずに日本を出国すると在留資格は無効となりますので注意してください。また、一時的に日本を離れる場合には必ず国際教育センターに「留学生一時出国届」を提出してください。

1) 「みなし再入国許可」

「みなし再入国許可」制度により、有効な旅券及び在留カードを持つ人が、出国後1年以内に日本での活動を継続するために再入国する場合は、原則、再入国許可を受ける必要がなくなりました。出国時に、再入国用IDカードのみなし再入国許可による出国の意志表明欄にチェックを入れ、入国審査官にみなし再入国許可による出国を希望することを伝えてください。

下記の点に注意してください：

- ・「みなし再入国許可」を受ける場合は、再入国希望者用の出入国カードを提出し、有効な旅券および在留カードを提示してください。
- ・「みなし再入国許可」で出国した者が出国後1年以内に再入国しない場合は、在留資格が失われるので注意してください。
- ・出国後1年未満に在留期限をむかえる場合は、在留期限までに再入国してください。

2) 「再入国許可」

1年以上日本に再入国しない場合は、「みなし再入国許可」ではなく、あらかじめ地方出入国在留管理局で「再入国許可」を取得してください。「再入国許可」は1回限り有効のものと、在留期間中なら何度でも有効なものがあります。申請に必要な書類等は、各自で地方出入国在留管理局に確認してください。再入国許可を受けておくと、再入国にあたり、通常必要とされる査証が免除されます。

(5) 資格外活動許可の申請について

在留資格「留学」の学生のみなさんは、大学で教育を受けるという目的で日本での滞在が許可されています。したがって、その目的以外の活動をする場合、例えばアルバイトや、有償のインターンシップに参加をする場合には必ず事前に地方出入国在留管理局より「資格外活動許可」を受けなければなりません。「資格外活動許可」を受けないでアルバイト・有償のインターンシップを行った場合や、許可の範囲を超えてアルバイトを行った場合は、処罰の対象となることがあります。ただし、立命館大学との契約に基づいて行うTA（ティーチングアシスタント）、ES（教育サポーター）、RA（リサーチアシスタント）を行う場合に限っては「資格外活動許可」は必要ありません。

1) アルバイトの許可時間数

1週間に付き28時間以内（夏期・冬期・春期休暇中に限り1日8時間、週40時間以内）

※複数のアルバイトをかけもちしている場合は、その合計時間が上記以内であること

※「1週間に付き28時間以内」とは、どの曜日から1週の起算をした場合でも常に1週について28時間以内であること

2) 資格外活動許可申請の方法

① 申請に必要な書類：

- | |
|--------------------------|
| a. 資格外活動許可申請書 |
| b. 在留カードおよびパスポート（原本） |
| c. 当該申請に係る活動の内容を明らかにする書類 |

※資格外活動許可申請書の用紙は、地方出入国在留管理局の窓口で入手できます。

また、法務省のホームページからもダウンロードできます。

<http://www.moj.go.jp/ONLINE/IMMIGRATION/16-8.html>

② 申請方法は以下の通りです。

上記の必要書類を準備して地方出入国在留管理局に提出する。



地方出入国在留管理局で、資格外活動をして問題がないと判断された場合、当日にパスポートに資格外活動許可証印シールが貼られ、在留カードに許可証印のスタンプが押される。

※資格外活動許可証印シールもしくは許可証印を受け取るまでは、アルバイトを行うことはできません。

3) 注意事項

アルバイトなど資格外活動をするときは、必ず資格外活動許可印シールの貼られたパスポートもしくは許可印のある在留カードを所持し、決められた範囲内でルールを守って行ってください。

- ① 「資格外活動許可」の期間はあなたの在留期限と同じです。在留期間を更新すると、更新前に取得した許可書は無効になります。在留期間更新後に改めて資格外活動許可の申請を行ってください。
- ② 日本出国期間中は申請が受理されません。
- ③ 風俗営業または風俗関連営業が行われる場所でのアルバイトは禁止されています。
- ④ 国費外国人留学生については、国際教育センターにて別途登録が必要となりますので、国際教育センターの窓口へ来て、指示に従ってください。
- ⑤ 休学中や卒業後は、在留期間が在留カード上では残っていてもアルバイトは出来ません。

風俗営業とは具体的には、キャバレー、スナック、ナイトクラブ、客の接待をして飲食させるバー・喫茶店、マージャン屋、パチンコ屋、ソープランド、ファッションヘルス、インターネット上でわいせつな映像を提供する営業などに従事するアルバイトです。このような場所で血洗いや掃除などをすることも禁止されています。

がくしゅとどけで (6) 各種届出について

日本に在留する留学生のみなさんは、「出入国管理及び難民認定法」、「住民基本台帳法」など日本の法律に従う必要があります。正当な理由がなく住居地の届け出をしなかった場合や、虚偽の届け出をした場合、在留資格取消などの処罰の対象となりますので注意してください。

1) 各種届出の種類と届出先

届出の種類	届出先
① 住居地の届出	住居地の市（区）役所、町村役場
② 転出の届出	住居地の市（区）役所、町村役場
③ 転入の届出	新しい住居地の市（区）役所、町村役場
④ 所属機関に関する届出	地方出入国在留管理局
⑤ 大学への届出	所属キャンパスの国際教育センター

① 住居地の届出

新規渡日で、空港で在留カードを取得した場合は、14日以内に住居地の市（区）役所、町村役場に在留カードを持参し、「住居地の届出」を行ってください。

② 転出の届出

引越などで住居地が変わる場合は、14日以内に住居地の市（区）役所、町村役場に「転出届」を提出してください。

③ 転入の届出

上記②の「転出届」の提出後に、14日以内に新しい住居地の市（区）役所、町村役場に「転入届」を提出してください。転入届を提出した後は、あわせて新しい住居地の市（区）役所、町村役場で「国民健康保険」と「国民年金」への加入手続きを行ってください。（詳細はP. 25参照）

④ 活動機関に関する届出

所属機関の名称又は所在地の変更が生じた場合、及び立命館大学を卒業・修了・退学・除籍した場合は、その事由が発生してから14日以内に住居地を管轄する地方出入国在留管理局に「活動機関に関する届出」（移籍もしくは離脱）を提出してください。

⑤ 大学への届出

在留カードの記載内容に変更があった場合は、必ず国際教育センターに在留カード（表裏）のコピーを提出してください。

2) 注意事項

在留カードは常時携帯義務がありますので、常に持ち歩くようにしてください。

3) 在留カードを紛失した場合について

在留カードを紛失した場合は、再交付が可能です。再交付にあたっては以下のものを揃え、紛失が発覚した日から14日以内に地方出入国在留管理局に行き、在留カードの再交付申請をしてください。

再交付を受けた後は、必ず所属キャンパスの国際教育センターに新しいカードの表・裏両面のコピーを提出してください。

① 再交付申請に必要なもの

書類の種類	注意点
在留カード再交付申請書	在留カード再交付申請書 申請書の様式は、法務省のホームページからダウンロードしてください。
カードを紛失したことを証明する資料(※1)	遺失届出証明書、盗難届出証明書、り災証明書(※1)など、ご自身が紛失した事由に該当するものを用意してください。なんらかの事情により用意ができない場合は、書類が用意できない理由を述べた理由書および、紛失した状況を記載した報告書をご自身で作成して地方出入国在留管理局に提出してください。
証明写真	タテ4cm×ヨコ3cm、無帽無背景、3か月以内に撮影した新しいもの。
パスポート	原本を持参して下さい。
学生証	立命館大学の学生であることの身分証明として、地方出入国在留管理局に行くときは念のため携帯しておいてください。

※1 紛失した場合は「遺失届出証明書」を警察署で発行してください。盗まれた場合は「盗難届出証明書」を警察署で発行してください。また、火災や自然災害で紛失・破損した場合は「り災証明書」を、現在の住所を管轄している区役所もしくは市役所で発行してください。

② 補足事項

- ・手数料は不要です。
- ・基本的には申し込みをしたその日に即日発行されますが、後日交付される場合もあります。
- ・新しい在留カードは、以前所持していたものとは違うカード番号が付与されています。新しいカード情報を大学で登録する必要がありますので、新しい在留カードを受け取った後は、所属キャンパスの国際教育センターに表裏両面のコピーを必ず提出してください。

ちほうしゅつにゅうこくざいりゅうかんりきょく ばし ゃ
(7) 地方出入国在留管理局の場所

《大阪出入国在留管理局 京都出張所》

〒606-8395

京都市左京区丸太町川端東入ル東丸太町34-12

京都第二地方合同庁舎4F

TEL:075-752-5997 FAX:075-762-2121

受付時間:9:00~12:00 / 13:00~16:00

(土・日曜日、休日を除く)

交通機関:

- ①京阪電車 京阪神宮丸太町駅下車、丸太町通を東へ約500メートル
- ②京都市バス 熊野神社前下車



交通
1. 京阪電車 京阪丸太町駅下車 丸太町通を東へ約500メートル
2. 京都市バス (北大路駅または京都駅から奥車) 204・206系統で熊野神社前下車

在留手続について

《大阪出入国在留管理局 大津出張所》

〒520-0044

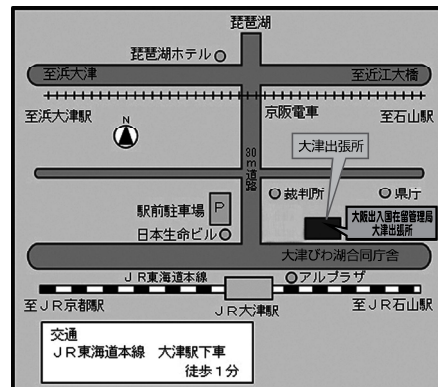
滋賀県大津市京町3-1-1大津びわ湖合同庁舎6階

TEL:077-511-4231 FAX:077-524-8903

受付時間:9:00~12:00 / 13:00~16:00

(土・日曜日、休日を除く)

交通機関:JR大津駅北出口(びわこ口)から徒歩1分



《大阪出入国在留管理局》

〒559-0034

大阪市住之江区南港北1丁目29番53号

TEL:06-4703-2158(大阪出入国在留管理局

留学・研修審査部門)

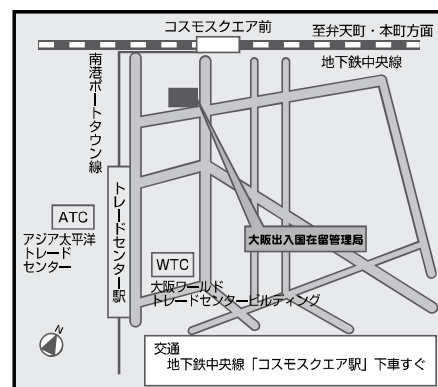
06-4703-2150(外国人在留総合

インフォメーションセンター大阪)

FAX:06-4703-2262(大阪出入国在留管理局代表)

受付時間:9:00~16:00(土・日曜日、休日を除く)

交通機関:地下鉄中央線[コスモスクエア駅]下車すぐ



5. 生活情報

(1) 住居

1) 物件の探し方

みなさんは、大学周辺の下宿やアパートなどで生活することになります。大学や駅周辺には学生向けの物件を扱っている不動産業者が多数ありますので、各自で探してください。

2) 連帯保証人について

日本では住居を借りる際に、貸主が保証を担保するために連帯保証人をつけることを求められます。立命館大学では、留学生のみなさんがスムーズに賃貸借契約の締結が出来るように、下記の保証会社を推奨しています。アパートやマンションの契約を締結する場合は、下記の保証会社を利用し賃貸借契約を締結してください。本学の留学生（在留資格を問わない）であれば、特別料金で保証を受けることができます。

※立命館大学および立命館大学の教職員は、賃貸借契約の連帯保証人にはなりませんので、連帯保証人が必要な場合は、以下の保証会社等を利用してください。

推奨する保証会社

Global Trust Networks (GTN) グローバルトラストネットワークス

【日本語】<http://www.gtn.co.jp/>

【英語】<http://www.gtn.co.jp/en/>

【韓国語】<http://www.gtn.co.jp/ko/>

【中国語】<http://www.gtn.co.jp/zh-CHS/>

【ベトナム語】<http://www.gtn.co.jp/vi/>

サービス内容

① 多言語でのサポートが受けられます。

英語・中国語・朝鮮語・ベトナム語・ネパール語による対応が可能です。

② 連帯保証人を立てる必要がありません。

緊急連絡先として本国の家族（両親）、国内（国籍不問）計2名の連絡先のみで保証が受けられます。

③ 生活のサポートがあります。

電気・ガス・水道の利用開始等に関する電話サポート、賃貸借契約の解約・更新手続き等のサポートを受けることが出来ます。

GTNの保証が利用可能な不動産業者

加入を希望する場合は、下記窓口まで問い合わせてください。

【衣笠キャンパス】

■立命館生協 衣笠住まいさがしセンター

TEL : 0120-606-315

<http://www.ritsco-op.jp/shopinformation/kinugasa/sumaicenter.html>

■株式会社学生ハウジング 立命館衣笠店

TEL : 0800-200-3215

<https://www.3215.co.jp/>

■株式会社フラットエージェンシー 本店

TEL : 0120-75-0669

<https://flat-a.co.jp/>

【びわこ・くさつキャンパス(BKC)】

■立命館生協 BKC住まいさがしセンター

TEL : 0120-077-390

<http://www.ritsco-op.jp/re/bkc/index.php>

■株式会社学生情報センター (Nasic)

TEL : 0120-356-542

<http://749.jp/25/s/2552/2>

【大阪いばらきキャンパス(OIC)】

■立命館生協 OIC住まいさがしセンター

TEL : 0120-283-481

<http://www.oicliving.jp/>

■株式会社 ジェイ・エス・ビー・ネットワーク UniLife茨木店

TEL : 0120-332-617

<http://unilife.co.jp/store/272/>

* 上記以外にもGTNのサービスが利用可能な不動産会社は多数あります。

3) 入居中の注意

① 家賃は決められた日に支払う

毎月の家賃・共益費の支払いは、必ず期日を守ってください。休暇中など長期に渡って不在にする場合も忘れずに支払いを行ってください。滞納すると、強制退去になる場合もあります。

② 部屋は改装できない

大家さんの許可を得ずに部屋を改装することはできません。壁にくぎを打つことも禁止されている場合がありますので、必ず事前に確認してください。

③ 入居者しか住めない

契約書に名前の載っていない人がアパートに住むことは契約違反となります。友人と一緒に住みたい場合には大家さんに事前に相談してください。

※家族が訪ねてきても、長い間一緒に住むことはできません。家族や親戚が一時的に滞在する場合は、事前に大家さんの許可を得てください。

④ 住人としてのマナーを守る

夜中に大声を出したり、パーティーを開き騒ぐなどして、周りの住民へ迷惑をかけてはいけません。また、下宿やアパートで決められたルールは必ず守ってください。

⑤ ゴミは決められた通りに捨てる

住む地域によって、ゴミの収集日やゴミの分別方法は異なりますので、ゴミは決められた通りに捨てましょう。ゴミの捨て方は市（区）役所などで案内しています。

4) 退去時の注意

① 退去届を出す

ほとんどの住居では、退去する1～2ヶ月前までに不動産会社と大家さんへ知らせなければなりません。まずは、不動産会社へ退去届を出してください。

※退去届の提出が遅れると、家賃を追加で支払わなくてはならない場合がありますので注意してください。

② 電気などの解約をし、家電製品・大型ゴミを適切に捨てる

③ 退去手続に立会う

退去する時は、部屋を入居した時と同じ状態にしてください。持ち物やゴミが残っていると、トラブルになることがあります。また、鍵を返す際にはどのように返したらいいか事前に大家さんや不動産会社に確認してください。

④ 敷金を精算する

5) その他

府・県営住宅、市営住宅などへの入居の募集があります。

また、不動産用語（礼金・敷金・更新料など）でわからない言葉があった場合は、必ず契約時に内容も含め確認してください。

(2) 国民健康保険・国民年金

1) 国民健康保険

① 国民健康保険（以下「国保」）について

日本の医療機関で治療を受けると高額な治療費がかかり、経済的に大きな負担となります。国保は、病気やケガをした時に、国、居住している市区町村および個人が医療費を分担し、経済的な心配をすることなく治療が受けられることを目的とした医療保険制度の1つです。病気やケガで医療保険を取り扱う医療機関に行った時、国保の保険証を提示すれば、健康保険法の適用を受ける医療費総額のうち、治療費の70%が国保によって負担されるため、30%の負担割合を支払うだけで治療を受けることができます。

② 国保への加入義務

国民健康保険法施行規則（1986年4月1日、2004年6月8日改正）により、3ヶ月以上日本に滞在予定で、居住する市区町村役所で住民登録をした留学生はすべて国保への加入が義務づけられています。また、自分の意思により、任意に脱退することはできません。

③ 国保への加入手続と届出

- 国保への加入手続は、居住地の区役所保険年金課もしくは市役所の国民健康保険課に「パスポート」と「在留カード」を持参して行います。
- 国保は住民登録を行った時点から資格が発生しますので、住民登録を行う時に一緒に手続をしてください。住民登録後すぐに加入しなかった場合、加入以前の保険料をさかのぼって徴収されますので注意してください。また、加入が遅れてしまった期間にかかった医療費は全額自己負担となりますので注意してください。
- 入学前に日本国内に居住していた留学生の場合は、新しく居住する場所の市（区）役所などで転入手続を行う時に、国保の手続も行ってください。以前居住していた場所の市（区）役所などが交付した保険証は使えません。
- 次の場合は、区役所保険年金課または市役所の国民健康保険課へ必ず各自で届け出なければなりません。
 - ・住所、氏名などが変わった場合→変わった日から14日以内
 - ・留学や休学、卒業/修了などで日本を出国する場合→日本を出国する前

※注意事項：留学や休学で日本を離れる際、市（区）役所への届け出をしなかった場合、新しい保険証の交付を受けられなくなったり、日本を離れていた期間の保険料を納めなければならなくなります。

④ 保険料および減額申請

毎月の保険料は、市区町村ごとに異なります。前年度の総収入が少ない場合、最高7割まで保険料の減免を受けることができますので、保険料に関する相談は居住地の市（区）役所の保険年金課・国民健康保険課の窓口にご問合せください。但し、アルバイトなどによる所得が多いと減免が受けられない場合があります。なお、留学生で所得が無いからという理由で自動的に保険料が減免されるわけではありませんので、必ず所定の手続きを行ってください。減免を受けるには年度ごとの申請が必要です。所得申告にかかわる申請書は、居住地の市（区）役所の窓口で取得できます。

⑤ 高額医療費について

1ヶ月の医療費の自己負担額が高額になった場合は、市（区）役所の国民健康保険担当課に申請して認められれば、限度額を超えた分が高額医療費として、自身で精算した後、払い戻されます。なお、最高自己負担額や手続きについては、市（区）役所へ問い合わせてください。

2) 国民健康保険加入推進事業について

立命館大学および京都市では、私費外国人留学生のみなさんの保険料の負担を軽くするための制度がありますので、対象者はぜひ利用してください。

※これらの補助を受けるには、年度ごとの申請が必要です。また、国民健康保険料の未納があれば補助を受けることができません。

① 立命館大学父母教育後援会留学生支援事業

対象：父母教育後援会に加入している正規課程の学部留学生。ただし、一世帯につき1名分の補助とします。（大学院生・短期留学生は対象となりません）

内容：保険料の一部補助（年間5,000円）

募集：年2回（春学期または秋学期）【予定】

※留学生メーリングリスト、manaba+R、国際教育センターホームページ等で案内します。

② 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業

対象：京都市在住で在留資格が「留学」の私費外国人留学生

内容：保険料の一部補助（月額700円）

募集：9月/3月

条件：京都市国民健康保険に6ヶ月以上加入していること

日本政府からの奨学金、またはそれと同額程度の奨学金の支給を受けていない私費外国人留学生であること

※補助金の振込み金融機関は「ゆうちょ銀行」に限定されています。申請予定者は「ゆうちょ銀行」の口座を開設してください。

※上記事業および補助額は変更となる場合もあります。

※manaba+Rや各キャンパスの国際教育センターで案内します。

3) 国民年金

日本に住む20歳以上60歳未満の者は、留学生を含めて国民年金に加入し、保険料を納めることが法律で義務づけられています。ただし、学生の場合は、「学生納付特例」により申請にもとづいて保険料の納付が猶予されます。詳細については、「日本年金機構」ホームページを確認してください。

日本年金機構 <http://www.nenkin.go.jp/index.html>

(3) マイナンバー制度

「マイナンバー制度」とは2016年1月から開始した新しい社会保障・税番号制度で、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるものです。マイナンバーは、日本国内の全住民に通知される一人ひとり異なる12桁の番号で、住所が変わったとしても日本にいる限り同じ番号を使い続けます。

マイナンバー通知書が届いたら、氏名、住所等に間違いがないか確認し、「通知カード」（紙）は絶対紛失しないように保管をしてください。2016年1月以降、市役所等で転居や転出などの行政手続を行うときやアルバイトをする時の給与にかかわる手続などでマイナンバーが必要となります。

※通知書には、「マイナンバー個人番号カード交付申請書」も同封されており、郵送またはオンラインで申請手続を行うと「個人番号カード」が交付されます。「個人番号カード」はプラスチック製のカードで公的な身分証明書となりますが、みなさんは「在留カード」と「通知カード」（紙）を組み合わせることで、行政手続等の際に身分証明が可能となりますので、「個人番号カード」の申請は必須ではありません。

※「通知カード」（紙）や「個人番号カード」を紛失した場合は、すみやかに最寄りの交番か警察署に行き、「紛失届」を提出してください。「通知カード」（紙）または「個人番号カード」の再発行は、警察署が発行する「盗難・遺失物届出証明書」をもって住居地の市役所や区役所等で相談をしてください。

※休学や卒業等で日本から出国した後に復学や就職などで再入国する場合、以前発行されたマイナンバーが引き継がれますので、出国前に必ず各市町村の役所で所定の手続きを行ってください。

(4) 緊急時の対応

1) 盗難・暴行にあったら

学外で自分の持ち物を盗まれたり、他人にケガをさせられた場合はすぐに「110番」（警察）に電話してください。また、盗難にあうなど自分の所有物を紛失した場合は、近くの交番か警察署に行き「盗難届」「紛失届」を提出してください。

※パスポートを紛失した場合は、大使館に再発行してもらうことになりますが、その場合、警察署が発行する「盗難・遺失届出証明書」が必要になります。

※在留カードを紛失した場合は、住居地の入国管理局で再発行をしてもらうことになりますが、その場合も警察署が発行する「盗難・遺失物届出証明書」が必要になります。

これらの事態の応急処置が終わったら、まず国際教育センター、学部／研究科事務室、学生オフィスに相談するようにしてください。

また、最近、大学内での盗難が発生しています。ほんの一瞬目を離した際に事件は起こっています。学内であっても各自の持物管理は本人の責任です。貴重品は放置することなく常に自分自身で管理してください。特に、自転車の盗難が目立ちますので注意してください。学内で被害にあったらまず国際教育センター、学部／研究科事務室、学生オフィスに相談してください。

2) 突然重い病気になったり・大けがをしたら

急に重い病気になったり、事故などで大けがをした場合には、周囲の人をお願いするか自分で「119番」に電話して通報してしてください。救急車が病院へ搬送してくれます。また、これらの事態の応急処置が終わったら、各キャンパスの国際教育センター、学部／研究科事務室、学生オフィスに相談してください。

3) 交通事故にあったら

通学に限らず、生活のあらゆる場面において、交通事故に遭わないためには細心の注意を払うことが必要です。加害者になり、学業が続けられなくなることもありますので、保険に加入するなど十分な備えも必要です。

①治療を受ける

交通事故で、負傷者が重傷な場合には、「119番」に電話して救急車を呼び病院に運びます。その時には大げさに感じられなくても、時間が経つと痛みが激しくなったり、後遺症が残ることもあるので、必ず病院で診断・治療を受けてください。「119番」は日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語で通話できます。

②警察に連絡して「事故届」を出す

警察に「110番」して、以下の点を確認してください。

- a) 事故の相手の住所・氏名・電話番号を確認
- b) 警察に事故発生を通知して警察官の立会いを求める

警察が来て調書を作成します。調書は事故の発生を証明し、どちらに責任があるかを判断する上で重要な資料になります。

③治療費や損害賠償の交渉

負傷の治療が済むと、被害者と加害者の間で、治療費や損害賠償について交渉することになります。この交渉はかなり複雑なものとなりがちです。よく知っている日本人に相談するか、国際教育センター、学部／研究科事務室、学生オフィスに相談してください。

あと、自分がどんな保険（海外留学保険、賠償責任保険、医療保険など）に加入しているのかについても把握しておいてください。

なお、交通事故の相談場所として、下記の交通事故相談所があります。

相談場所	連絡先
京都市消費生活総合センター（交通事故相談）	075-256-2140
京都府交通事故相談所	075-414-4274
滋賀県交通事故相談所	077-528-3425
茨木市市民生活相談課	072-620-1603

4) 災害にあったら

地震、風水害、火災などの災害にあった時には、まず自分の身を守ることが必要です。災害にあった時に、落ち着いて、的確な判断と安全な行動がとれるよう「緊急災害対応ハンドブック(学生用)」を配布していますので、ぜひ活用してください。

また、自然災害等により学生本人が居住する住宅に半壊以上等の被害を受け、学生生活の継続に支障をきたした場合、一日も早く学生が通常の学生生活に復帰し学業を継続するための支援制度として「JASSO支援金」があります。支給額は10万円（返還不要）の予定です。申請は学生オフィスで随時受け付けています。

5) 医療機関について

① 各キャンパス近隣医療機関

立命館大学の近くにある医療機関については保健センターより配布されている「立命館大学健康ハンドブック」の「各キャンパス近隣医療機関のご案内」を参照してください。

② 外国語が通じる病院、医院

a) 京都府

・「京都健康医療よろずネット」をご参照ください。

<http://www.mfis.pref.kyoto.lg.jp/ap/qq/men/pwtpmenult01.aspx>

b) 滋賀県

・「医療ネット滋賀」をご参照ください。

<https://www.shiga.iryō-navi.jp/qqport/kenmintop/>

c) 大阪府

・「大阪府医療機関情報システム」をご参照ください。

<http://www.mfis.pref.osaka.jp/apqq/qq/men/pwtpmenult01.aspx>

下記電話相談窓口で外国語が通じる病院の案内を受けることができます。

問い合わせ先	TEL	言語	曜日	時間
AMD A国際医療情報センター	03-6233-9266	英語、中国語、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語 ※日によって対応できる言語が異なりますので、事前に確認してください。	月～金	10:00 ～ 15:00

③ 医療通訳について

京都府と滋賀県には日本語を母国語としない外国人の皆さんが医療サービスを受けられるように医療通訳（無料）を利用できる病院があります。利用には予約が必要です。利用を希望する場合は、以下で利用可能な病院や言語について確認してください。

多文化共生センターきょうと <http://www.tabunkakyoito.org/>

また、上記のAMD A国際医療情報センターでも相談できます。

④ 病院・診療所が休みのときに急病になったら

下記の休日診療所をご利用ください。

a) 京都府

病院名	住所・電話	診療科目
京都市急病診療所	<small>にしのみょうりげしとびのあちよう</small> 京都市中京区西ノ京東梅尾町 6 番地 (京都府医師会館 1 階) 電話：075-354-6021	内 科 眼 科 耳鼻咽喉科

b) 滋賀県

病院名	住所・電話	診療科目
湖南広域休日急病診療所	滋賀県栗東市大橋 2-7-3 (済生会滋賀県病院前) 電話：077-551-1599	内 科

c) 大阪府

病院名	住所・電話	診療科目
茨木市保健医療センター 附属急病診療所	茨木市春日三丁目 13 番 5 号 (茨木市保健医療センター内) 電話：072-625-7799	内 科 歯 科

<注意事項>

- ・日本語が話せない場合は、通訳できる方を介してください。
- ・診療科目によって診察時間等が異なりますので、事前にウェブサイト等で確認してください。
- ・紹介した病院・診療所以外にも、急病対応をする病院・診療所がありますので、ウェブサイト等で確認してください。

なお、ウェブサイトの情報が更新されていない場合があります。診療を受ける前に電話で問い合わせを行ってください。

健康等に関わっては、保健センターが発行している「健康ハンドブック」をご参照ください。

(5) 就職活動について

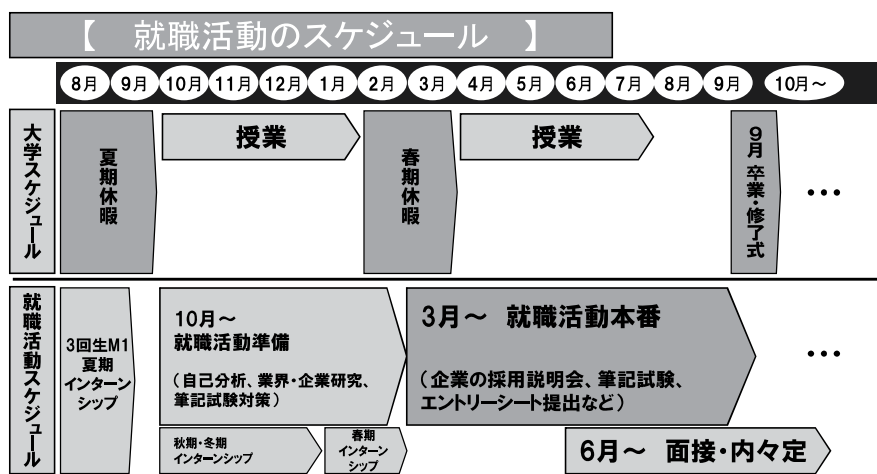
1) 日本での就職について

外国人留学生が日本の企業に就職する場合、多くは留学生の採用枠を設けず、日本人の学生と同様に選考が行われます。日本企業は一般的に3月卒業・修了、4月入社という新規卒業者を対象とした採用活動を行い、採用活動の時期も決まっています(9月に卒業・修了する場合も翌年の4月入社が原則です)。近年企業活動がグローバル化する中、多くの本学の外国人留学生が日本企業に就職をしています。しかし、日本企業独特の採用方法や自国企業との企業文化の違いなどがあるため、日本の就職活動について事前に知っておく必要があります。

<日本企業への就職を希望する場合に必要なこと>

▼ 就職活動のスケジュールを把握する

日本では就職活動を行う時期が限られています。事前にスケジュールを知り、適切な時期に就職活動を行いましょう。一般的に3回生・M1生の夏頃にはインターンシップに参加し、秋頃(9月卒業予定者は4回生・M2生)から就職活動の準備を開始します。



※2020年9月、2021年3月卒業・修了予定者のスケジュールです

▼ 日本語力をつける

日本企業への就職には高い日本語能力が求められることがほとんどです。日本語能力試験N1レベルの習得は必須なことに加えて、ビジネス日本語や英語力も期待されています。日本での生活において、日本人と積極的に関わり、表現力を身につけましょう。

▼ キャリアビジョンをもつ

外国人留学生を採用する際、日本企業は「どうして日本企業に就職を希望するのか」「どれくらいの期間日本企業で働きたいのか」「将来は母国に帰りたいのか」などキャリアビジョンを聞かれます。将来どのように働いていきたいのかを意識して学生生活を過ごしていきましょう。

▼ 日本企業の企業文化や採用手法を知る

日本企業には自国の企業とは異なる企業文化や、採用方法があります。例えば、長期雇用を前提とした採用などです。学内外で、日本就職に関わるガイダンスやイベントを行っていますので、情報収集は早めに行うようにしましょう。

▼学生生活を充実させる

日本の就職活動では、「学生時代頑張ったこと」などを聞かれます。正課授業に真剣に取り組むとともに、サークル活動やボランティア、アルバイトなど課外活動にもチャレンジしていきましょう。

2) 日本での就職活動の支援について

日本での就職活動は、書類選考、筆記試験、面接試験などのステップがあり、それぞれのステップに応じた事前対策が必要です。立命館大学ではキャリアセンターで進路・就職支援を行っています。ぜひ積極的に活用してください。(月～金 9:30～17:00 ※11:30～12:30および水曜日の午前中は閉室)

衣笠	研心館 1階
BKC	プリズムハウス 2階
OIC	A棟1階 AS事務室内

[キャリアセンターHP] <http://www.ritsumeit.ac.jp/career/>

[Global×Career] <http://www.ritsumeit.ac.jp/career/global/>
(外国人留学生×日本就職をチェック)

＜キャリアセンターで行っている外国人留学生の就職支援内容＞

(2019年度実績、2020年度以降は変更となる場合があります)

- ・新入生オリエンテーション (日本で就職するために1回生からできることを知しましょう。)
- ・留学生対象日本就職ガイダンス (3回生になったらこれに参加しましょう。)
- ・留学生のための内定者による就活相談会
- ・日本就職を目指す留学生のためのエントリーシート作成講座
- ・留学生対象の学内企業説明会、選考会 (オンキャンパス・リクルーティング)
- ・CAMPUS WEBによる留学生対象の求人検索
- ・窓口での進路の相談など

3) 在留資格の変更について

留学生のみなさんは日本人学生と違い、就職する際に在留資格「留学」から他の資格に変更がともないます。在留資格を変更する際に、それぞれの学部での学び(専門)とこれから働こうとする会社での職務内容が異なる場合は在留資格の変更が許可されない場合がありますので、大学で学んだことをどう就職先で活かすのかをよく考えて、就職活動を行ってください。

参考：キャリアセンターホームページ内[Global×Career]

4) 卒業後の日本での就職活動について

卒業・修了後に日本で就職活動を継続するためには、在留資格を「留学」から「特定活動」に変更する必要があります。変更には、大学が発行する推薦状が必要で、審査を通過した者にのみ推薦状を発行します。本学では、年2回推薦状発行申請期間を設け、申請者の学修や生活状況、これまでの就職活動実態、今後の見込みを厳格に審査した上で、適当と認めた者に推薦状を発行します（随時発行や卒業生への発行はしません）。

また、申請には制度説明のガイダンスへの出席が必須となっているため、卒業・修了を予定する学期中に実施されるガイダンスに必ず参加してください。ガイダンスの日程（春学期：7月末予定、秋学期：1月末予定）は、manaba+Rや留学生MLでお知らせします。

(6) 卒業などで日本を離れる場合の手続きについて

1) 活動機関の離脱に関する届出手続

卒業、退学などにより、現在所属している活動機関から離脱した場合、14日以内に法務省令で定める手続により、地方出入国在留管理局へ、届け出なければなりません。必要書類等の詳細については、法務省のホームページを確認してください。

<URL>

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00014.html

また、在留カードは、空港で入国管理官に帰国することを伝え、返却してください。

2) 海外転出届、及び国民健康保険証の返却について

帰国する前に住居地の市(区)役所、町村役場にて海外転出届を提出する必要があります。また、国民健康保険の脱退手続きも行ってください(1週間前が目安)。出国日を証明する為に、帰りの飛行機の手ケットを見せることで、帰国予定日までの保険料の支払状況を確認してもらえます(不足分の納付書を渡されることがありますので、帰国までにお支払いください)。この手続きをきちんと済ませることで、帰国直前まで保証を受けることができます。住居地の市(区)役所、町村役場には在留カード、保険証、帰国日がわかる書類をお持ちください。保険証は住居地の市(区)役所、町村役場の係員の指示に従って返却をしてください。返却しなかった場合、保険料の請求が続くことになるので、必ず帰国前に手続きをするようにしてください。

3) 郵便物

引っ越しをする際には、郵便局に転居届けを提出する必要があります。また、友達やアルバイト先などにも事前に帰国後の連絡先を伝えてください。また、郵便局は海外には郵便物を転送してもらえませんので、気をつけてください。転居届けの提出が完了した後は、あなた宛の郵便物は旧住所には届きません。

4) 学生証

卒業や退学をする際に、立命館大学の学生証を返却しなければなりません。学生証には学生証番号やみなさんの所属学部/研究科が記載されています。この情報は今後、立命館大学に問い合わせをする際に必要な場合がありますので、学生証を返却する前にコピーをとる、あるいは写真を撮るなどして大切に保管してください。

5) 生協組合員カードについて

生協組合員カードは帰国する前に所属キャンパスの生協窓口へ返却し、脱退の手続きをしてください。生協加入時に支払った出資金が全額返金されます。カードに電子マネーが残っている場合は脱退の手続きをする前に、必ず生協店舗で使い切ってください。

6) その他

現在の住居、および携帯電話の契約は帰国する前に必ず解約してください。契約を解除せず帰国して、料金の滞納が続く場合は、みなさんの母国の自宅に連絡が入るかもしれません。立命館大学は一切の責任を負いません。また、レンタルビデオや図書館の本などの返却物を必ず返却してください。

(7) その他

インターネットを通じて留学生のための情報を入手することができます。以下に留学生のための情報を掲載したホームページURLをいくつか紹介します。

(公財)京都府国際センター

URL : <http://www.kpic.or.jp>

(公財)大学コンソーシアム京都

URL : <http://www.consortium.or.jp/>

(公財)京都市国際交流協会

URL : <http://www.kcif.or.jp/>

(公財)滋賀県国際協会

URL : <http://www.s-i-a.or.jp/>

草津市国際交流協会

URL : <http://www.kifa-japan.org/>

(公財)大阪国際交流センター

URL : <http://www.ih-osaka.or.jp/>

O S A K A 留学生ネット

URL : <http://www.osaka-ryugakusei.com/>

(公財)大阪府国際交流財団

URL : <http://www.ofix.or.jp/>

AY2020

Ritsumeikan University

International Student Handbook

【English Edition】

1. Introduction

(1) About This Handbook

This handbook contains key information that you need in order to make the most of your experience here as international students, at Ritsumeikan University.

You will be living and taking classes among fellow Ritsumeikan students, and due to the differences between the culture, systems and customs of Japan and those of your home country, there may be times of confusion and distress. During such times, feel free to discuss any issues with Manabi Station or the International Center.

Living an organized and meaningful student life will greatly help you achieve your own personal goals as an international student.

2. Student Life

(1) About the International Center

1) Location / Office Hours

E-mail: ru-inter@st.ritsumei.ac.jp

Hours: Monday – Friday, 10:00 - 17:00 p.m.
(closed from 11:30 - 12:30 for lunch and Wednesday mornings)

*When classes are not in session, the office is open in the afternoons only
(13:00 - 17:00)

International Center at Kinugasa Campus	Mailing Address: Ritsumeikan University, 56-1, Tojiin Kitamachi, Kita-ku, Kyoto 603-8577, Japan Location: Meigakukan (明学館) 1F, Kinugasa Campus, Ritsumeikan University Tel: +81 (0)75-465-8230 Fax: +81 (0)75-465-8160
International Center at BKC	Mailing Address: Ritsumeikan University, 1-1-1 Nojihigashi, Kusatsu, Shiga 525-8577, Japan Location: Central Arc(セントラルアーク) 2F, Biwako- Kusatsu Campus, Ritsumeikan University Tel: +81 (0)77-561-3946 Fax: +81 (0)77-561-3956
International Center at OIC	Mailing Address: Ritsumeikan University, 2-150 Iwakura-cho, Ibaraki, Osaka 567-8570, Japan Location: Building A, AN Office (A 棟 AN 事務室) 1F, Osaka Ibaraki Campus, Ritsumeikan University Tel: +81 (0)72-665-2070 Fax: +81 (0)72-665-2079

2) Inquiries dealt with at the International Center

Student Life	Extension of stay	p. 56
	Change in residence status	p. 57
	Permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence previously granted ("Work Permit")/ Part-time jobs *We do not offer employment introductions	p. 59
	National Health Insurance application procedures National Pension Scheme exemption procedures	p. 67
Scholarships	Scholarship applications for international students	p. 44
International Exchange Events	Applications for events in the local community, information service	p. 43
Overseas Study	Applications for overseas study administered by the university, information about the programs	

<International Student Support Coordinator>

International students can consult with an International Student Support Coordinator to discuss concerns such as questions they have in their everyday life or concerns they have living in Japan. International Student Support Coordinators are stationed at the International Center on each campus, so please feel free to drop by and consult with them.

3) Important requests from the International Center

Please inform the International Center on your campus as soon as possible in any of the following cases:

Change in Residence Status/Extension of Period of Stay	Any change in Residence Status or Period of Stay must be reported to the International Center on your campus.
Cell Phone Contract/Change of Telephone Number	<u>If you enter a cell phone contract after enrolling:</u> log in to manaba+R and access CAMPUS WEB to register the number. <u>If there is a change in your home or cell phone number:</u> log in to manaba+R and access CAMPUS WEB to correct the registered phone number, then notify the administrative office of your college/graduate school and the International Center on your campus. We use this information to contact you regarding your visa, scholarship, and other important issues.
Change of Address	If your address changes, be sure log in to manaba+R and access CAMPUS WEB to update your information, then report the change to Manabi Station. You may be sent important documents related to scholarships and tuition fees from time to time. If you do not change your current address or tuition fees billing address in accordance with the prescribed procedures, your tuition fees bill cannot be mailed correctly.

	You must also update your health insurance and residence card at your city hall or ward office within 14 days. After completing those procedures, please submit a photocopy of both sides of your residence card to the International Center on your campus.
Temporarily Leaving Japan	Please inform the International Center on your campus (and fill out the required documentation) if you have plans to temporarily leave Japan at any time. This will allow us to ensure that all students are safe in the event of a natural disaster or terrorist attack.
Change to Enrollment Status (Leave of Absence, Reenrollment, Withdrawal)	If you wish to change your enrollment status, please contact the administrative office of your college/graduate school (Manabi Station for OIC) and the International Center as soon as possible.

Significant information related to student life is provided via the following methods. Please make sure you don't miss any of the important information made available through these channels:

manaba+R	As a general rule, we will use manaba+R to provide information and contact students. Please take it upon yourself to check manaba+R on a regular basis.
Student Mailing List	As a support tool to manaba+R, the International Center uses the [mlst-inter-en] international student mailing list, the scholarship e-mail address (rscholar@st.ritsumei.ac.jp), and other university e-mail accounts to provide important information about scholarships, tuition reduction, and international exchange events. E-mail from the international student mailing list will arrive in your university (ritsumei.ac.jp) account, so please check it regularly to make sure that you do not overlook this important information. *If you do not receive any e-mails from the international student mailing list, please inform the International Center on your campus as soon as possible.

(2) On-Campus Consultation

Consultation Topic	Consultation Desk	Comments
I want my student card reissued.	Manabi Station	You are required to pay 2,000 yen for the reissuance of your card
I want to report a change to my address or phone number.	Manabi Station (manaba+R)	After logging in to manaba+R to access CAMPUS WEB and change the information, notify your city hall/ward office of the change and submit a photocopy of both sides of your residence card to the International Center
I need various certificates (e.g. pertaining to my grade report or school registration)	Certificate Issuing Machine or Manabi Station	For certificates of scholarship receipt, please visit the International Center
I need to discuss issues relating to my classes (class registration/advising)	(Kinugasa/BKC) Administrative office of your college/graduate school (OIC) Manabi Station	
When I want to take a leave of absence from / re-enter / leave school	(Kinugasa/BKC) Administrative office of your college/graduate school, (OIC) Manabi Station International Center	
Discussions related to Residence Status	International Center	
I want to apply for the National Health Insurance Subsidy	International Center	
I caused / was involved in an accident or incident	Office of Student Affairs, International Center	
I want permission to take part in activities not authorized under my current status of residence (Work Permit)	International Center	Apply at your local Regional Immigration Bureau personally.
Post-Graduation Career Counseling	Career Center	
I feel sick or have a health-related issue	Medical Service Center	
I want to receive counseling	Student Support Room (Office of Student Affairs)	
I lost something on campus	Office of Campus Information	

Note: The consultation desk for international students at Suzaku Campus is at the Inter-Faculty Graduate School Office. Although there may be cases where correspondence with the International Center at Kinugasa is required, please consult with the Inter-Faculty Graduate School Office first.

(3) International Exchange Events

1) International Student Exchange Events Sponsored by the International Center (Proposed Schedule)

Time of Year	Event
March	Spring Semester New Student Orientation
May	Welcome Event for New International Students
September	Fall Semester New Student Orientation
October	Fall International Exchange Event (Kyoto/Shiga Area Sightseeing)
November	International Exchange Bus Tour
December	Winter International Exchange Event (Multicultural Festival, etc.)

Note: The events above are generally carried out by the International Center and the Tutors for International Students Assembly (TISA). In addition, the International Center receives information about international events that are carried out by the local authorities and other organizations. The International Center will notify students of such information through the international student mailing list.

2) Campus International Exchange Areas

In 2018, Ritsumeikan University established the Beyond Borders Plaza (BBP). BBP is a place for everyday international exchange and language study, where information sessions for international students and events related to study abroad and international exchange take place. BBP offers materials on Japan and Japanese culture, a television for foreign news broadcasts, and computers for student use. There is also a variety of printed and audiovisual material on overseas universities and international study programs for students interested in studying abroad. Many exchange events take place here, and we encourage you to attend.

3) International Student Tutors (TISA)

Composed primarily of undergraduate students, the Tutors for International Students Assembly (TISA) is a group that not only assists international students in their student lives and learning experiences, but also holds international exchange events. TISA provides assistance for everyday life and learning in Kyoto, Shiga, and Osaka, and is active on each campus as an easily accessible resource for international students. International students are also welcome to participate in TISA.

4) Extracurricular Activities

There are currently about 400 student organizations ranging from sports to traditional arts at Ritsumeikan. Extracurricular activities such as student clubs and circles enable you to meet and exchange with Japanese students, and help you mature as an individual by working together towards a mutual goal. International students are highly encouraged to participate in these activities to expand their knowledge and understanding of Japanese culture and to form personal networks with Japanese students. If you would like information about individual clubs and circles, please consult with the Office of Student Affairs. (A list of extracurricular activities can be found on the Circle Collection webpage at <https://college.ritsumei.club/circle/>)

In addition, each college has several student support organizations, such as ORITOR (or ENTER), where older student volunteers provide learning, student life, and other support for younger incoming students.

3. Scholarships

(1) Outline

Ritsumeikan University has several varieties of support for international students such as scholarships and tuition reduction. This support can be broadly divided into two general categories: tuition reduction and university-recommended scholarships. While most scholarships require that applicants hold a "Student" status of residence, there are some scholarships that do not require this status of residence. Interested students are encouraged to submit applications for Ritsumeikan University Scholarship Application for Privately Financed International Students explained below. In general, scholarships are awarded to students who are proactive in their studies and other activities. There is no guarantee that all international students will be approved to receive a scholarship, however. Additionally, various scholarships have additional eligibility criteria, conditions and application procedures, so financial need alone does not guarantee that applicants will receive scholarship assistance. Please make sure you understand the application method for each scholarship and apply for the appropriate scholarship by the due date.

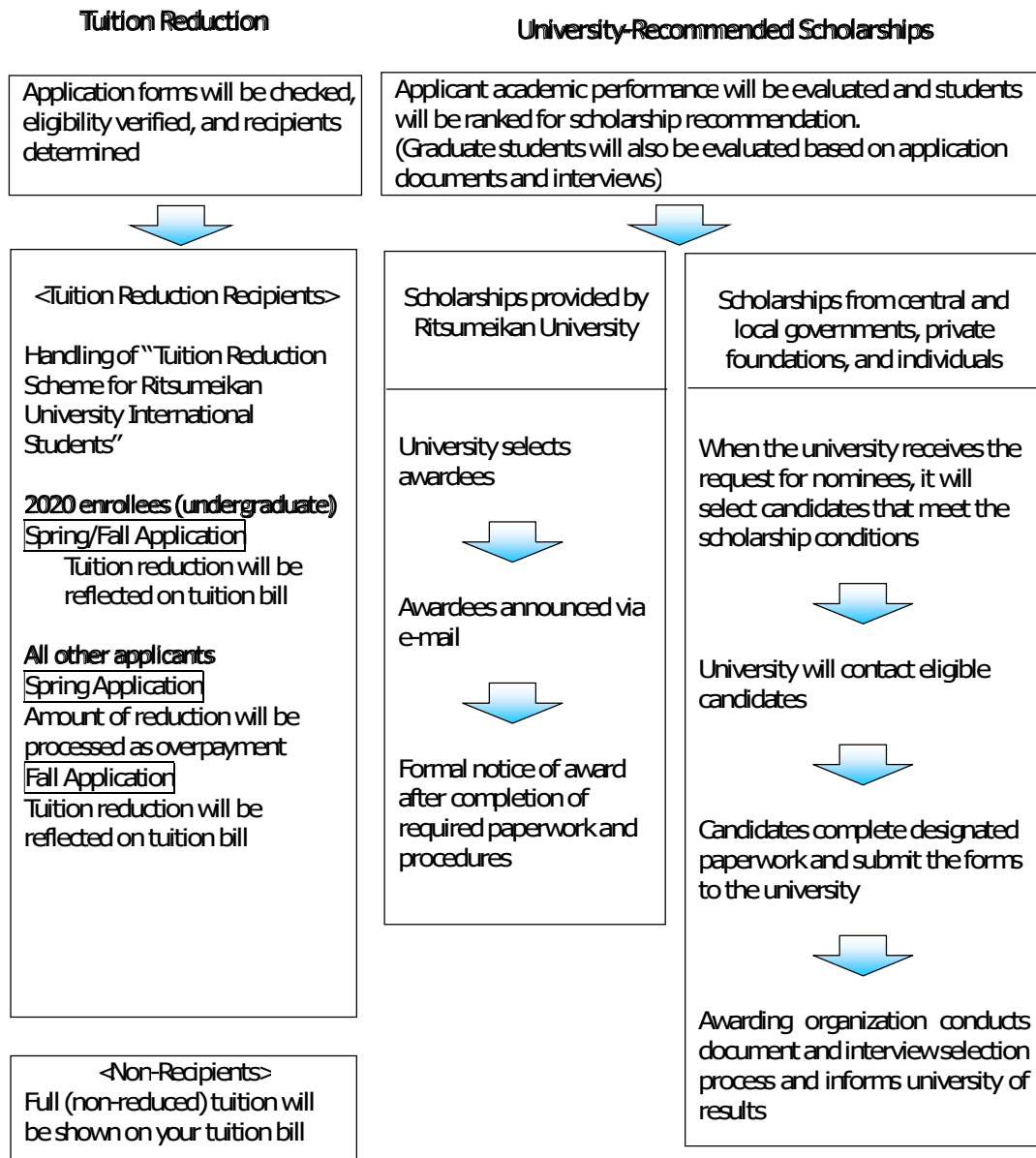
Scholarship Category		Eligible Applicants
1) Tuition Reduction	(1) Tuition Reduction Scheme for Ritsumeikan University International Students	All students (within their standard program duration)
2) Scholarships (University-Recommended Scholarships)	(2) Scholarships provided by Ritsumeikan University	All students
	(3) Scholarships from central and local governments, private foundations, and individuals (university recommendation required)	
3) Scholarships to which students can apply individually (no university recommendation required)		Varies based on the scholarship
4) Scholarships awarded upon acceptance to Ritsumeikan (university recommendation required)		Varies based on the scholarship

*For information about scholarships for international students, check manaba+R, the international student mailing list, or the International Center website periodically.

* For details about scholarships that are not available at the International Office, contact Manabi Station, the Office of Student Affairs, the Office of Graduate Studies, or the Inter-Faculty Graduate School Office.

*For details, refer to the scholarship list.

(2) Application Process Flowchart



(3) Tuition Reduction

Tuition Reduction Scheme for Ritsumeikan University International Students

- With regard to students who enroll to Ritsumeikan University (besides English-basis students who enroll through AO Admissions or University Recommendations), only the top eligible applicants based on academic performance are eligible for tuition reduction. No other students from this category will receive tuition reductions.
- All English based student applicants who enroll through AO Admissions or University Recommendations and all graduate school applicants are eligible for tuition reduction.
- For more details, please refer to the scholarship application guidelines.

Eligibility Criteria

- Must be enrolled in an undergraduate or graduate degree-seeking program at Ritsumeikan University. (Students on a Leave of Absence are not eligible)
- Must have the status of residence of "Student"
- Must be a privately-financed international student

Reduction Period

1 year *("Graduate I" category students receive a reduction for the duration of their standard program completion period)

Application Periods

April enrollees: Spring semester (early April)
September enrollees: Fall semester (early October)

Important Notes

*Students who wish to receive the tuition reductions above must apply each year. Receipt of tuition reduction does not automatically carry over to subsequent years.

*Applicants from the Graduate School of Management who receive tuition reduction may receive their tuition invoice later than other students.

*Applicants who have paid the entire year's tuition at the time of application and fall semester applicants will receive a refund of the amount of tuition at the end of the academic year.

*Applicants who decide to take a leave of absence from their studies, withdraw, or study abroad after submitting their application should report that decision to the International Center at their campus immediately.

*Please see the application guidelines for more information about the selection process for tuition reduction.

<Ritsumeikan University Tuition Reduction Scheme for International Students / Undergraduate Students>

Japanese Based Students (Majors/courses other than those listed below)	Undergraduate I (100% reduction) : Top 10% of eligible applicants
	Undergraduate II (50% reduction) : Next top 10% of eligible applicants after Undergraduate I recipients
	Undergraduate III (20% reduction) : Next top 50% of eligible applicants after Undergraduate I・II recipients
English Based Students (International Relations-GS) (International Relations-JDP) (Policy Science-CRPS) (Information Science and Engineering-ISSE) (Global Liberal Arts)	Undergraduate I (100% reduction) : Top 10% of eligible applicants
	Undergraduate II (50% reduction) : Next top 10% of eligible applicants after Undergraduate I recipients
	Undergraduate III (20% reduction) : Eligible applicants who did not receive Undergraduate I or II reduction

<Ritsumeikan University Tuition Reduction Scheme for International Students / Graduate Students>

All Researchers	Graduate I (100% reduction) : Decided upon acceptance
	Graduate II (20% reduction) : Eligible applicants who did not receive Graduate I reduction

(4) Scholarships

1) University-Recommended Scholarships

University-recommended scholarships include scholarships provided by Ritsumeikan University and scholarships from central and local governments, private foundations, and individuals. A list of all scholarships may be found on pages 49-53 under (7) List of Scholarships. The scholarship award amounts and payment periods vary based on the scholarship.

2) Scholarships to which students can apply individually (no university recommendation required)

If the university receives information about scholarships to which students may apply on their own, that information will be shared via manaba+R and e-mail from the International Center, as well as posted on the International Center website. Other scholarships may exist that do not pass information to the university, so please check the scholarship organizations' websites and bulletins on your own.

*If you apply for any scholarships on your own, please be certain to inform the International Center at your campus.

(5) Application Procedures for Tuition Reduction and Scholarships

For more details about the application procedures for tuition reduction and scholarships, please refer to information provided by e-mail, on manaba-R, and on the International Center webpage.

(6) Certificates of Scholarship Receipt

The International Center can issue certificates of scholarship receipt for a fee when necessary for purposes such as extension of stay or passport renewal.

1) To Apply:

Complete all sections and submit the "Application for Certificate Issuance" as well as the processing fee to the International Center at your campus during service hours.

2) To Receive:

Certificates can be picked up at the International Center or mailed.

3) Processing Time:

Approximately one week from application

*Processing time for certain certificate types may take longer.

4) Fee:

200 yen/copy

5) Available Certificates:

Tuition Reduction Receipt Certificate, MEXT Scholarship Certificate, Monbukagakusho Honors Scholarship for Privately Financed International Students Certificate, ADB – JSP Scholarship Receipt Certificate

(7) List of Scholarships

List of Tuition Reduction/Scholarships (Recommendations and Newly Awarded Scholarships in 2019)

U: Undergraduate / G: Graduate / M: Master's Degree / D: Doctoral Degree / RU: Ritsumeikan University
 *Spring/Fall in the Application Period column indicates the period for university-recommended scholarships.

1) Tuition Reduction Offered by Ritsumeikan University

Tuition Reduction Name	Eligibility Criteria (Award in 2019)					Japanese Proficiency	Tuition Reduction Conditions		Application Period In 2019
	Lvl	Major	Yr	Country	Age		Amount	Award Period	
Tuition Reduction Scheme for Self-Financed International Students	U	—	—	—	—	—	A portion of tuition (see p.8-9)	1 year	Spring/ Fall
	G							1 year (Minimum years required for graduation for Graduate I)	

2) Scholarships Offered by Ritsumeikan University

Scholarship Name	Eligibility Criteria (Award in 2019) *Only special notes are mentioned					Japanese Proficiency	Scholarship Conditions		Application Period In 2019	Recommended Recipients In 2019	Awards In 2019
	Lvl	Major	Yr	Country	Age		Amount	Award Period			
Ando Momofuku Scholarship for International Students	U			Asian Countries	Under 30		1,000,000 yen/year	1 year	Spring	2	2
	G									2	2
International Students Assistance Scholarship by Ritsumeikan Faculty/ Staff	U						250,000 yen/year	1 year	Spring	17	10
	G										7
RU Parents' Association of Student Education Assistance International Students Scholarship	U						250,000 yen/year	1 year	Spring	20	20

3) Scholarships Offered by Private and Public Foundations (University Recommendation Required)

The following is information regarding the scholarship application situation from the previous year. Whether or not these scholarships will be offered in 2020 depends on the private or public foundations which administer them. In addition, some scholarships that indicate "open application" require students to complete university-recommended scholarship procedures in order to apply.

Scholarship Name	Eligibility Criteria (Award in 2019) *Only special notes are mentioned					Japanese Proficiency	Scholarship Conditions		Application Period In 2019	Recommended Recipients In 2019	Awards In 2019
	Lvl	Major	Yr	Country	Age		Amount	Award Period			
Monbukagakusho Honors Scholarship for Privately Financed International Students (December Selection)	U						48,000 yen/month	1 year	Spring	7	7
	G									3	3
The Asahi Glass Foundation	G	Ed., medical, dental, pharmaceutical (5yr) veterinary	M1 D1	Thailand, Indonesia, China, Korea		required	100,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Spring	1	1

Scholarship Name	Eligibility Criteria (Award in 2018) *Only special notes are mentioned					Japanese Proficiency	Scholarship Conditions		Application Period in 2018	Recommended Recipients in 2018	Awards in 2018
	Lvl	Major	Yr	Country	Age		Amount	Award Period			
Asian Foundation for International Scholarship Interchange	U			Asian countries	under 30	required	60,000 yen/month	1 year	Fall	1	0
	G				under 35		(M) 60,000 yen/month (D) 70,000 yen/month			1	0
Ajinomoto Scholarship Foundation	G	Food, nutrition, or health fields		Asia, South America, Africa	under 30	required	150,000 yen/month	Maximum 2 years	Spring	1	0
The Iwatani Naoji Foundation Scholarship for International Students	G	Natural sciences and related fields		East/ Southeast Asian countries	(M) under 30	required	150,000 yen/month	1 year	Fall	1	0
					(D) under 35					1	0
Ichikawa International Scholarships Foundation (Spring Application)	U			Asian countries	under 35	required	100,000 yen/month	2 years	Fall	0	0
	G				4					1	
Ichikawa International Scholarships Foundation (Fall Application)	U			Asian countries	under 35	required	100,000 yen/month	1 year	Spring	2	1
	G				0					0	
Otsuka Toshimi Scholarship Foundation	G	Business administration, sciences related to health and pharmaceuticals		Asian, Middle Eastern, African countries, Brazil, Russia, and Czech Republic	38 or under		2,000,000 yen, 1,500,000 yen, or 1,000,000 yen/year	1 year	Fall	2	2
Kato Asao International Scholarships Foundation	G			Asian countries	(M) 30 or under	required	(M) 130,000 yen/month	2 years	Fall	2	1
					(D) 35 or under		(D) 150,000 yen/month				
Kamenori Foundation	G	Humanities and social sciences	M1 D1	China, Hong Kong, Taiwan, Korea, and designated ASEAN countries		required	200,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Fall	No request for recommendation	
Kyoritsu International Foundation Scholarship	G		D1, etc.	Asian countries		required	100,000 yen/month	2 years	Fall	1	0
Kyoritsu Maintenance Scholarship Fund	U		1-3	Asian countries		required	60,000 yen/month	1 year	Fall	1	0
KDDI Foundation	G	*1			35 or under		100,000 yen/month	6 months or 12 months	Spring	1	1
International Japanese Cultural Research Foundation	G	Currently enrolled doctorate students in Kyoto Prefecture	D1-3			required	100,000 yen/month	Maximum 3 years	Spring	0	0
Kobayashi International Scholarship Foundation	U		3-4	Asian countries	35 or under	required	150,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Fall	1	1
	G						180,000 yen/month			0	0
SGH Scholarship (Sagawa Scholarship Foundation)	U		3	ASEAN countries	27 or under	required	100,000 yen/month	2 years	Fall	0	0
	G		M1 D2		35 or under					0	0
Sato Yo International Scholarship Foundation (Fall Application)	U			Asian countries (excluding China, Taiwan, Korea)		required	150,000 yen/month	2 years	Spring	1	1
	G						180,000 yen/month			1	0

Scholarship Name	Eligibility Criteria (Award in 2018) *Only special notes are mentioned					Japanese Proficiency	Scholarship Conditions		Application Period in 2018	Recommended Recipients in 2018	Awards in 2018
	Lvl	Major	Yr	Country	Age		Amount	Award Period			
Sato Yo International Scholarship Foundation (Spring Application)	U		1	Asian countries (excluding China, Taiwan, Korea)		required	150,000 yen/month	2 years	Fall	0	0
	G		M1 D1				180,000 yen/month	Minimum years required for graduation *D only; mid-study review required			
JEES Study Scholarship (Prev. JEES Scholarship)	U					required	30,000 yen/month	Maximum 2 years	Spring	1	1
	G										
JEES Scholarship for the Promotion of Japanese Language Learning (JLPT)	U	*2				required	50,000 yen/month	Maximum 2 years	Around April (open application)	5	1
	G										
JEES Scholarship for the Promotion of Japanese Language Learning (JLCT)	U	*3				required	50,000 yen/month	Maximum 2 years	Around April (open application)	0	0
	G										
JEES Scholarship for the Promotion of Japanese Language Learning (Priority Countries)	U			Designated priority countries		Required	50,000 yen/month	Maximum 2 years	Around April (open application)	0	0
	G										
JT Global Scholarship (prev. JT Asia Scholarship)	G			Designated Asian countries	under 35	required	150,000 yen/month	Maximum 2 years	Fall	2	1
LIA (Life Insurance Association of Japan) International Student Scholarship	U	*4	3	Designated Asian countries		required	100,000 yen/month	2 years	Fall	2	0
	G		M1							0	0
Korea Scholarship Foundation	U			North and South Korea	under 30	required	25,000 yen/month	1 year	Spring	2	1
	G				under 40		(M) 40,000 yen/month (D) 70,000 yen/month			0	0
Kyoto City International Foundation Zhang Fen Jun Scholarship Fund	U	Currently enrolled university students in Kyoto City	2 and up	Designated Asian countries		required	50,000 yen/month	1 year	Spring	1	0
	G										
Docomo Scholarship	G	Communication technology and information processing (ind. humanities and social sciences majors) *5	M1	Designated Asian countries		required	120,000 yen/month	2 years	Open applications	2	0
T. Banaji Indian Students Scholarship	U			India			100,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Fall	1	1
	G										
Daiyukyo Foundation of International Exchange, Assistance & Research	U	OIC students currently living in Osaka Prefecture	1	M1, D1		required	50,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Fall	1	1
	G						70,000 yen/month			1	0
Toyota Tsusho Scholarship	U	Social sciences (economics, law, etc.), humanities, or science and engineering	3			required	100,000 yen/month	2 years	Fall	2	0
Nishimura International Scholarship Foundation	U	Those currently living in Osaka Prefecture	3	Asian countries		required	120,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Spring	2	2
	G		M1 D1							0	0
JGC-SS Scholarship Foundation	G	Science and engineering				required	250,000 yen/year	1 year	Spring	1	1

Scholarship Name	Eligibility Criteria (Award in 2018) *Only special notes are mentioned					Japanese Proficiency	Scholarship Conditions		Application Period in 2018	Recommended Recipients in 2018	Awards in 2018
	Lvl	Major	Yr	Country	Age		Amount	Award Period			
Hashimoto Jun Memorial Scholarship	U	Humanities		East Asian countries		required	100,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Spring	2	0
	G									2	1
Hashiya Scholarship Foundation	U			Indonesia		required	100,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Spring	0	0
	G										
Hattori Scholarship	U			ASEAN countries	under 30	required	100,000 yen/month	2 years	Fall	0	0
					(M) under 35						
	G				(D) under 40						
PAL Inoue Foundation	U		2 and up			required	25,000 yen/month	1 year	Spring	1	1
Shiga Intercultural Association for Globalization Bivako Scholarship	U	BKC students currently living in Shiga Prefecture				required	20,000 yen/month	1 year	Spring	3	0
	G									1	1
Hirose International Scholarship Foundation International Student Scholarship	U			Asian countries	35 and under	required	150,000 yen/month	1 year (extension is possible)	Fall	0	0
	G						200,000 yen/month			0	0
Heiwa Nakajima Foundation Scholarship	U					required	100,000 yen/month	1 year	Around September (open application)	1	0
	G									0	0
Mitsubishi Corporation Scholarship	U		3-4				100,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Fall	3	2
	G						150,000 yen/month			2	0
Yasuda Scholarship Foundation	U	Law, economics, and business administration	2			required	100,000 yen/month	Maximum 3 years	Fall	6	1
Yasuda Scholarship Foundation (Sports Scholarship)	U	*6	1-3			required	100,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Around April (open application)	0	0
Yusa International Student Scholarship	G			East Asian and Southeast Asian countries/ regions		required	100,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Fall	1	1
Rotary Yoneyama Memorial Scholarship	U		3-4			required	100,000 yen/month	Minimum years required for graduation	Around September (open application)	4	2
	G		M1-2 D2-3		under 45		140,000 yen/month			2	2

*1 Studying telecommunications or a related theme in the fields of law, politics, economics, society, culture, or technology

*2 Those studying in the field of Japanese Language Teaching, who passed last year's JLPT level N1 at a test site in Japan

*3 Those who passed the Japanese Language Education Ability test held during the previous year

*4 Those interested in the financial industry, especially in life insurance

*5 Those studying communication technology or information processing, Humanities and Social Studies majors researching communication technology or information processing.

*6 Those engaging in Sports Studies, or official members of university recognized sports clubs who are expected to produce notable results

- Scholarship requirements are subject to change.
- Scholarships that require Japanese language proficiency have "required" in the Japanese Proficiency column.

4) Other Scholarships Offered by Private Foundations that Students Must Apply for Independently (No University Recommendation Required)

*Confirm application details at the website for each foundation

Scholarship Name	Eligibility Criteria						Scholarship Conditions		Application Period
	Lvl	Major	Yr	Country/ Region	Age	Japanese Proficiency	Amount	Award Period	
Otsuka Toshimi Scholarship Foundation	G	*1				required	2,000,000 yen, 1,500,000 yen, or 1,000,000 yen/year (500,000 yen/year if you receive it concurrently with another scholarship)	1 year	Around April- May
Japan-Taiwan Exchange Association,	G			Taiwan	Those born on or after 1985/4/2		144,000- 145,000 yen/month	Minimum years required for graduation	September- October
Nitori International Scholarship Foundation	U		2-4			required	110,000 yen/month	1 year	August- November
	G		M1-2						
Donghua Educational and Cultural Exchange Foundation Scholarship	U		3-4	China (Ind., Taiwan, Macau, Hong Kong)			100,000 yen/month	1 year	October
	G		All						
Japan-China Friendship Association Ariake Japan Scholarship	G	*1		China	Those born on or after 1989/4/2		70,000 yen/month	1 year	November
Taiwan Dokyokai Scholarship	U			Taiwan		required	120,000 yen/year	1 year	September
	G								

*1 For more details with regard to majors, please confirm by checking the scholarship foundation's website.

* Scholarship requirements are subject to change.

* Scholarships that require Japanese language proficiency have "required" in the Japanese Proficiency column. For more details, please check the scholarship's website.

5) Scholarships Awarded Upon Entrance to Ritsumeikan (University Recommendation Required)

Scholarship Name	Eligibility Criteria						Scholarship Conditions		Application Period in 2019	Recommended Recipients in 2019	Awards in 2019
	Lvl	Major	Yr	Country/ Region	Age	Japanese Proficiency	Amount	Award Period			
Konosuke Matsushita Memorial Foundation	G		M1	Asia, Africa, Latin America		required	300,000 yen enrollment support, travel support, 120,000 yen/month	Minimum years required for graduation	August	4	2
Monbukagakusho Honors Scholarship for Privately-Financed International Students	U		1				48,000 yen/month	1 year	Spring	149	149
								6 months	Fall	65	65
								1 year	Spring	20	20
	G		M1 D1					6 months	Fall	27	27

4. Residence Procedures for Foreign Residents

International students are permitted to stay in Japan for the purpose of receiving education at a Japanese university. Students are required to follow the procedures below during their stay in accordance with the Immigration Control and Refugee Recognition Act and the Basic Resident Registration Law. Please carry out these procedures carefully, as they are important for you as an international student and necessary to study at a university.

Document Type	Where to Apply
Extension of Period of Stay	The Regional Immigration Bureau with jurisdiction over your area of residence
Change in Status of Residence	
Permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence previously granted (Work Permit)	
Permission for Re-Entry	Regional Immigration Bureau (unnecessary in most cases, if you possess a valid residence card and intend to return to Japan within 1 year to continue activity under the status of residence previously granted)
New address registration	Local city hall, ward office, or town/village office

(1) Status of Residence at Ritsumeikan University

1) Periodical Report about Students who took a Leave of Absence, Withdrew from the University, Were Dismissed, or Whose Whereabouts Are Unknown

Ritsumeikan University makes periodic reports to the Regional Immigration Bureau and the Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology (Monbukagakusho/MEXT) regarding enrolled students who took a leave of absence, withdrew, were dismissed, or whose whereabouts are unknown. Additionally, all educational organizations hosting mid- to long-term residents with "Student" status, are required, when they begin hosting such students (admission, transfer, etc.) or terminate hosting (graduation, dismissal, etc.), to notify the Regional Immigration Bureau of the fact within 14 days of the event. Therefore, if you change your enrollment status, status of residence, or period of stay, please inform the International Center as soon as possible.

2) Attendance Confirmation in Response to a Directive from MEXT

With regards to the periodic reports mentioned in 1) above, on June 12, 2019 in a directive to national, public and private universities in Japan MEXT announced "a new policy on the strict management of enrollment of international students". As part of that policy, it has now become mandatory for universities to inform MEXT of international students who are long-term absentees of one month or more.

Ritsumeikan University is also required to abide by the directive above, and as a result checks

international students' attendance once every month. Students have been notified of the process used to confirm students' attendance via manaba+R, so please check that for details. Students who do not comply will be reported to MEXT as long-term absentees of one month or more, so please be sure to conduct the stipulated attendance confirmation procedures.

3) Expiry of Status of Residence

You may not remain in the country under the status of residence of "Student" after you graduate, complete your studies, are dismissed from, withdraw or take a leave of absence from Ritsumeikan University. Your "Student" status of residence will expire immediately upon meeting any of the above criteria. You will be required to return to your home country at once, or if wishing to continue to stay in Japan, will need to change your status of residence. Additionally, you must report your change in status to the Regional Immigration Bureau with jurisdiction over your residential area within 14 days of graduation, completion of your study, dismissal or withdrawal. (Penalties may be applied that make it difficult to renew your status of residence if you do not notify immigration in a timely manner.)

4) Cancellation of Status of Residence

If you, as a "Student," continue to stay in Japan after you stop attending the university for more than 3 months or your status changes due to graduation, completion of study, withdrawal, dismissal, or a leave of absence, your status of residence is subject to cancellation. Additionally, even if for a period of less than 3 months, if you are not engaging in educational activities at the university and are engaging in or intending to engage in other activities, your status of residence is subject to cancellation. Once your status is cancelled, in the worst-case scenario, you may be detained and face deportation from Japan, denied re-entry into Japan for five years, and not be allowed to study in Japan again. In the event of scheduled withdrawal, dismissal or a leave of absence, you must contact the International Center in advance.

5) Permission to Engage in an Activity Other than That Permitted by the Status of Residence Previously Granted ("Work Permit")

Foreign residents with a "Student" status of residence must have a Work Permit, called "Permission to Engage in an Activity Other than that Permitted by the Status of Residence Previously Granted," in order to work at a part-time job or engage in most other paid activities. Recently, an increasing number of international students have been apprehended by police for working without authorization. You must obtain a work permit and stay within the guidelines outlined in your permit, including the job duties and number of working hours. Please refer to page 59 for further information on how to apply for the permit and other guidelines.

6) Basic School Survey Conducted by MEXT

With the aim of surveying basic school matters and obtaining basic data regarding the administration of school education, the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology conducts the Basic School Survey each year. Ritsumeikan University, under the guidance of the ministry, also conducts a Basic School Survey each year on May 1 where we confirm the status of residence of international students belonging to Ritsumeikan.

The International Center at each campus requests you to submit a copy of both sides of your residence card around mid-April each year. If you do not submit the copy, it is not possible to reflect correct information in the survey. When you receive instructions via the international student mailing list or manaba+R, please promptly submit a copy of both sides of your residence card to the International Center on your campus.

(2) Extension of Period of Stay

"Student" residence status is granted in several different lengths: 3 months, 6 months, 1 year, 1 year and 3 months, 2 years, 2 years and 3 months, 3 years, 3 years and 3 months, 4 years, or 4 years and 3 months. Many international students' initial Period of Stay may not be long enough to complete their studies, so they must extend their period of stay during their enrollment at the university. Please check your period of stay yourself, and apply to extend your period of stay early (it is possible to apply for an extension starting 3 months before the expiration of your period of stay). Once you extend your period of stay, you must also renew your work permit (Permission to Engage in an Activity Other Than That Permitted by the Status of Residence Previously Granted), as it will become invalid. If necessary, reapply for the permit after your stay is extended. Your application for extension of period of stay requires documents ("For organization" parts 4-5) with the university seal. Fill out the "For applicant" parts 1-3 of the application form and bring it to the International Center on your campus. It may take the university a few days to produce the documents needed to accompany your application, so please bring your application form to the International Center well in advance.

<Documents to be submitted to the International Center>

- Application for Extension of Period of Stay "For applicant" parts 1- 3
- Copy of the both sides of your residence card
- Copy of the both sides of your student ID card
- Copy of your course schedule

1) Application documents to be submitted to the Regional Immigration Bureau

a) Application for Extension of Period of Stay

*The form can be downloaded from the Ministry of Justice's webpage:

➤ <http://www.immri-moj.go.jp/english/tetuduki/kanri/shyorui/03-format.html>

b) Certificate of Enrollment

c) Transcript of Academic Record or Notification of Academic Record

d) Passport

e) Residence card

f) Photograph (40mm x 30mm, ID-style, taken within 3 months)

g) Application fee of 4,000 yen (revenue stamp)

*Revenue stamps can be purchased at the Regional Immigration Bureau.

*The required documents may differ depending on each individual.

2) Additional instructions:

- a. Submit a photocopy of both sides of your new residence card to the International Center once your period of stay is extended.
- b. If you have not earned enough course credits, your extension may not be approved, and you will no longer be permitted to stay in Japan.

(3) Change in Status of Residence

1) Changing to "Student" status

International students enrolled in the university's undergraduate or graduate programs must acquire "Student" resident status in order to be eligible for several programs offered by the university. When you change your status of residence to "Student", the Regional Immigration Bureau requires the university seal on your application. Please prepare the following documents and bring them to the International Center.

<Documents to be submitted to the International Center>

- Copy of the both sides of your residence card
- Copy of the both sides of your student ID card
- Copy of your course schedule

1. Application Documents to be Submitted to the Regional Immigration Bureau

a) Application for change in resident status *The form can be downloaded from the Ministry of Justice's webpage: ➢ http://www.immi-moj.go.jp/english/tetuduki/kanri/shyorui/02-format.html
b) Certificate of Enrollment
c) Transcript of Academic Record
d) Passport
e) Residence card
f) Photograph (40mm x 30mm, ID-style, taken within 3 months)
g) Application Fee of 4,000 yen (revenue stamp)*Revenue stamps can be purchased at the Regional Immigration Bureau.

2. Additional Instructions

- The required documents may differ depending on the student and their current status of residence.
- Depending on your current status of residence, you may not be allowed to change your status in Japan. Please contact your local Regional Immigration Bureau.
- After you receive your new residence card, please promptly submit a copy of both sides of the card to the International Center.

2) Changing from "Student" to other status of residence

Those who have a status other than "Student" are not eligible for tuition reduction, international student scholarships, aid to pay national health insurance premiums, or other forms of aid. If you possess a status of residence other than "Student" during your enrollment at Ritsumeikan, or if you change your status from "Student" to another status of residence, please notify the International Center.

3) Changing to a status of residence for full-time employment

If you have "Student" status and you find full-time employment in Japan, you must change to a

status that allows full-time employment. For more information about changing your "Student" status of residence to a different status of residence, please contact the Regional Immigration Bureau.

(4) Special Re-entry Permission and Re-entry Permission

If you intend to leave Japan to return to your home country or visit another country during your period of stay in Japan, you need to determine whether you are eligible Special Re-entry Permission or whether you must file an application for Re-entry Permission. Students who are eligible for Special Re-entry Permission or who acquire Re-entry Permission before leaving Japan are not required to obtain a new status of residence to return to Japan. However, students who leave Japan, are not eligible for Special Re-entry Permission, and have not acquired a permit will have their status of residence revoked and will be unable to return to Japan under that status, so please make sure you have properly completed procedures before leaving! Additionally, please be certain to file a Report of Temporarily Leaving Japan at the International Center at your campus.

1) Special Re-entry Permission

Foreign residents in Japan, who possess a valid passport and residence card and intend to return to Japan within 1 year of departure to resume their previous activities (e.g. study at Ritsumeikan University), in general do not require a re-entry permit. When departing from Japan, check the box for "Departure with Special Re-entry Permission" on the Embarkation Card for Reentrant and tell the immigration officer that you would like to depart Japan with special re-entry permission.

Important Notes:

- Upon leaving Japan, you must fill in the "Embarkation and Disembarkation Card for Reentrant" (not the "Disembarkation Card for Foreigner") and show a valid residence card and passport at the Immigration Desk.
- Students who leave Japan under the Special Re-entry Permission system but do not return to Japan within 1 year will lose their status of residence.
- If your period of stay on your residence card expires within 1 year, you must return to Japan before your period of stay expires.

2) Re-entry Permission

If you intend to leave Japan for longer than one year, you are not eligible for the Special Re-entry Permission, so please be certain to apply for a Re-entry Permit at the Regional Immigration Bureau before leaving Japan. Single and Multiple Re-entry Permits are available, but the validity is limited to your period of stay at the time of application. If you require a Reentry Permit, please confirm the required application documents with the Regional Immigration Bureau. Once you receive a Reentry Permit, you will be exempt from the entry visa normally required for entering Japan.

(5) Work Permit (Permission to Engage in an Activity Other Than That Permitted under the Status of Residence Previously Granted)

All students whose resident status is "Student" have received permission to stay in Japan on the condition that they are enrolled in a university. If you pursue activities outside of this specific purpose, such as a part-time job or paid internship, you are required to obtain "Permission to Engage in an Activity Other Than That Permitted under the Status of Residence Previously Granted" from your local regional immigration bureau in advance. If you engage in work without the permit, you will be subject to criminal punishment including deportation from Japan. However, you do not need this permit if you pursue official TA (Teaching Assistant), RA (Research Assistant), or ES (Education Supporter) positions within Ritsumeikan University.

1) Maximum number of hours permitted for part-time jobs

Up to 28 hours per week (up to 8 hours per day/ 40 hours per week during summer, winter, and spring breaks)

*If working multiple part-time jobs, the cumulative hours worked must not exceed the above limitation.

*Please note that the wording "28 hours per week" means that students may not work more than 28 hours in any 7-day period, no matter what day of the week the calculation of a "week" begins from.

2) How to apply for a work permit

1. Documents required for application:

- | |
|--|
| a) Application for Permission to Engage in Activity Other than that Permitted Under the Status of Residence Previously Granted |
| b) Your original passport and your residence card |
| c) Document that proves the intended activity as indicated on the application form |

*You can receive the application documents from the immigration office. You can also download them from the Ministry of Justice's webpage.

<http://www.immi-moj.go.jp/english/tetuduki/kanri/shyorui/09.html>

2. Application process

(1) Prepare the documents above and submit them to your local Regional Immigration Bureau



(2) If the Regional Immigration Bureau approves your application, a permit sticker will be affixed to your passport, a permit seal will be stamped on your Residence card, and your passport and residence card will be returned to you on the same day.

*You are not permitted to begin work until you receive this official seal.

3) Additional guidelines

When you take part in activities other than those permitted by the status of residence previously granted, please be certain to carry your passport or residence card that shows your permission at all times and stay within the guidelines of permitted activities.

1. The time period of your permit is the same as your period of stay in Japan. If you renew your period of stay, or change your status of residence, your work permit will become invalid. Please make sure you reapply for your work permit if your status of residence

changes.

2. Applications are not accepted while you are outside Japan.
3. Working for and doing business in the entertainment industry is strictly prohibited.
4. For students receiving a Japanese Government Monbukagakusho (MEXT) scholarship, you must register your permit at the International Center. Please come to the International Center and follow the instructions given.
5. Even if you have time remaining according to the period of stay shown on your residence card, you are unable to engage in part-time work during a leave of absence or after graduation.

The "entertainment industry" is more specifically defined as jobs connected to cabarets, night clubs, pubs, bars/cafes where you entertain clients, mahjong rooms, pachinko parlors, and any places related to the sex industry. Taking part in jobs related to the maintenance or cleaning at these facilities is also prohibited.

(6) Government Reporting Obligations

International students residing in Japan are required to abide by all Japanese laws, including the Immigration Control and Refugee Recognition Act and the Basic Resident Registration Law. International residents are required to report to the local government office, the regional immigration bureau, and the university when certain information about their residence changes. International residents who fail to submit the required reports, in the absence of extenuating circumstances, or who file false reports will be subject to discipline up to and including revocation of their residence status, so all students are highly encouraged to review the required reporting information below and are advised to submit reports by the designated deadlines.

1) Required Report Types and Locations

Report Type	Submission Location
1. Address Notice	City hall / ward office of residence
2. Move-out Notice	City hall / ward office of <u>previous</u> residence
3. Move-in Notice	City hall / ward office of <u>new</u> residence
4. Notification regarding Accepting Organization	Regional Immigration Bureau
5. Notifications to the University	International Center at your campus

1. Address Notice

Upon newly arriving in Japan, international residents who receive their residence card at the airport upon immigration must bring that residence card to the city hall or ward office within 14 days to file an Address Notice.

2. Move-out Notice

Residents of Japan who are moving out of a city or ward's jurisdiction must file a Move-out Notice within 14 days of moving to the city hall or ward office where they previously lived.

3. Move-in Notice

After filing the Move-out Notice, residents must file a Move-in Notice in their new city or ward of residence, also within 14 days of the move. After you have submitted the Move-in Notice, please re-apply for National Health Insurance and National Pension at your new city hall or ward office. (Please refer to pages 65-66 for more details.)

4. Notification of the Accepting Organization

You are required to submit a "Notification of the Accepting Organization" to the Regional Immigration Bureau within 14 days if any of the following events occur: 1) The name of your Accepting Organization changes; 2) The address of your Accepting Organization changes; or 3) You cease your activities at your Accepting Organization (e.g. graduate, withdraw, take a leave of absence, are expelled).

5. Reports to the University

Any time the information on your residence card changes or your card is reissued, you must submit a copy of the front and back of the card to the International Center at your campus.

2) Important Note

All international residents are required to carry their residence card at all times.

3) In the Case You Lose Your Residence Card

If you lose your residence card, it can be reissued. To request the reissuance of your residence card please prepare the following and go to your local immigration bureau within 14 days of the date you lost it. Once your new residence card is issued, please submit a copy of both sides of it to the International Center of the campus to which you belong.

(1.) What to Prepare to Have Your Residence Card Reissued

Documents	Points to Note
Application to reissue your residence card	The application form for reissuance of your residence card can be downloaded from the Ministry of Justice's webpage. http://101.110.15.213/english/tetuduki/kanri/hituyou_syorui.html
Documentation proving that you lost your Residence Card (*1)	Please have a notification ("Notice of Lost Item Notification", "Certificate of Theft Notification", or "Disaster Victim Certificate" (*1)) appropriate to the situation issued. If you are unable to obtain the required document for some reason, please prepare a document explaining the reason you are unable to obtain the required document and include a report explaining the circumstances under which you lost your residence card and submit it to the Regional Immigration Bureau.
Photograph	40mm x 30mm, ID-style, taken within 3 months)
Passport	Please take your original passport
Student ID Card	Please take your student ID with you when you visit the Regional Immigration Bureau in case you need to prove that you are a student

	of Ritsumeikan University.
--	----------------------------

*1 If you lose your Residence Card, please have a "Notice of Lost Item Notification (紛失届出証明書)" issued at the Police Station. If your Residence Card was stolen, please have a "Certificate of Theft Notification (盗難届出証明書)" issued at the Police Station. If your Residence Card was destroyed, please contact the city hall or your closest ward office with jurisdiction over your area of residence for a "Disaster Victim Certificate (災害証明書)" to be issued.

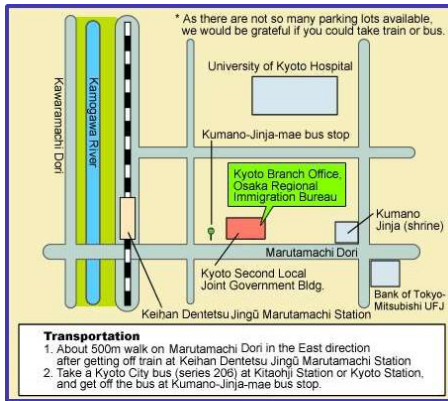
(2.) Supplementary Information

- There is no charge for having your Residence Card reissued.
- Generally, your new Residence Card will be issued on the day you submit the application, but in some cases, you may be asked to come back at a later date to collect the card.
- Your new Residence Card will have a different number to your previous card. You need to register your new information with the University, so please submit a copy of both sides of your new card to the International Center at the campus to which you belong.

(7) Location of Regional Immigration Bureau Offices

Osaka Regional Immigration Bureau, Kyoto Branch:

Hours of operation: 9:00- 12:00 / 13:00- 16:00 (Monday- Friday, except holidays)



Location: Kyoto Second Local Joint Government Bldg, 4F
34-12 Marutamachi-Kawabata-Higashi-Marutamachi,
Sakyo-ku, Kyoto City, Kyoto 606-8395

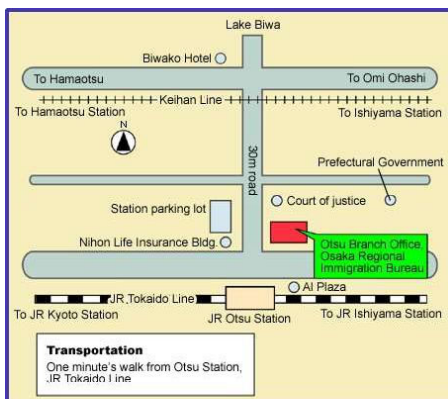
TEL: 075 (752) 5997

Transportation:

- (1) About 500m walk east on Marutamachi Dori after getting off the train at Keihan Jingū Marutamachi (京阪神宮丸太町) Station
- (2) Take the Kyoto City bus to the Kumano-Jinja (熊野神社前) stop

Osaka Regional Immigration Bureau, Otsu Branch

Hours of operation: 9:00- 12:00 / 13:00- 16:00 (Monday- Friday, except holidays)



Location:

Otsu Biwako Joint Government Building, 6F
3-1-1 Kyomachi Otsu, Shiga 520-0044

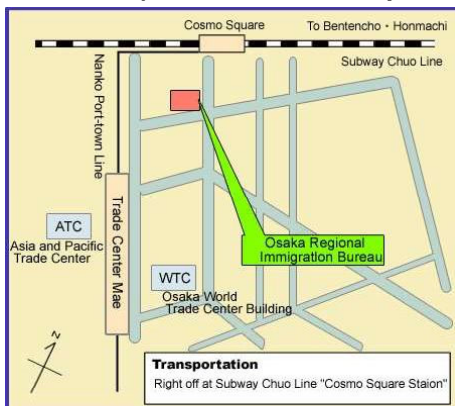
TEL: 077 (511) 4231

Transportation:

One-minute walk from JR Otsu (大津) station, north (Biwako) exit

Osaka Regional Immigration Bureau

Hours of operation: 9:00- 16:00 (Monday- Friday, except holidays)



Location:

1-29-53, Nankou Kita, Suminoe-ku, Osaka City, Osaka

TEL:

Foreign Resident Information Line: 06-4703-2150

International Student / Researcher Visa Division: 06-4703-2158

Transportation:

Chuo subway line (中央線) to Cosmo Square station (コスモスクエア駅)

5. Information for Daily Life

(1) Housing

1) Finding Housing

Most international students live in apartments or other accommodations near the university. There are many real estate agencies with listings targeted toward students near the campuses and stations that can help you find housing.

2) Housing Guarantor

When renting an apartment in Japan, landlords usually require a co-signer or guarantor as a guarantee of payment. In an effort to help students smoothly complete their housing rental contracts, we recommend using the services of the guarantor company described below.

When you sign a contract and move into a new apartment, please utilize this guarantor company to serve as your co-signer. If you are an international student of our university (regardless of visa status), you are eligible to utilize the guarantor company's housing cosign guarantee at a specially discounted rate.

*Ritsumeikan University and its faculty and staff will not serve as guarantors for housing rental contracts. If you need a guarantor, please use the recommended guarantor company below.

<Our Recommended Guarantor Company>

Global Trust Networks (GTN)

(Japanese) <http://www.gtn.co.jp>
(English) <http://www.gtn.co.jp/en/>
(Korean) <http://www.gtn.co.jp/ko/>
(Chinese) <http://www.gtn.co.jp/zh-CN/>
(Vietnamese) <http://www.gtn.co.jp/vi/>

<Guarantor Services>

1. Support in English, Chinese, Korean, Vietnamese, and Nepali.
2. You don't have to find anyone to co-sign for your housing.
You can enjoy the company's co-sign guarantee simply by designating both an emergency contact person in your home country (family), and an emergency contact here in Japan (any nationality).
3. Support for your daily life.
Call the help line for assistance when you move in and need to complete your utility contracts- electric, gas, and water. You can also call for support when you'd like to cancel or renew your housing contract.

GTN's guarantor services can be used when renting from the following housing rental agencies. When you want to use GTN's services, please visit one of the customer service counters below.

Kinugasa Campus

- Ritsumeikan Co-op: Kinugasa Sumai Sagashi Center (衣笠住まいさがしセンター)
TEL: 0120-606-315
<http://www.ritsco-op.jp/shopinformation/kinugasa/sumaicenter.html>
- Gakusei Housing Inc. Kinugasa Branch (株式会社学生ハウジング 立命館衣笠店)
TEL: 0800-200-3215
<http://www.3215.co.jp/>
- Flat Agency Inc. Main Office (株式会社フラットエージェンシー 本店)
TEL : 0120-75-0669
<http://www.flat-a.co.jp/>

Biwako-Kusatsu Campus (BKC)

- Ritsumeikan Co-op: BKC Sumai Sagashi Center (BKC 住まいさがしセンター)
TEL: 0120-077-390
<http://www.ritsco-op.jp/re/bkc/index.php>
- Student Information Center Inc., Nasic (株式会社学生情報センター ナジック)
TEL: 0120-356-542
<http://749.jp/25/s/2552/2>

Osaka Ibaraki Campus (OIC)

- Ritsumeikan Co-op: OIC Sumai Sagashi Center (OIC 住まいさがしセンター)
TEL: 0120-283-481
<http://www.oicliving.jp/>
- J.S.B. Network Co., Ltd. UniLife Ibaraki Branch
(株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク UniLife 茨木店)
TEL: 0120-322-617
<http://unilife.co.jp/store/272>

*In addition to the companies listed above, there are many other rental agencies where you can use GTN's services.

3) Important Move-in Reminders

1. Pay your rent by the due date

You must pay your monthly rent and maintenance fees by the required date. Even if you go on an extended vacation, you must make your payments on time. If you fail to do so, you may be forced to move out of your apartment.

2. You are not allowed to make modifications to your room.
You cannot make modifications to your room without the permission of your landlord. You must talk to your landlord before making any small changes including putting nails in the wall.
3. Only the tenant may live in the housing
It is a breach of contract to house a person whose name is not written on the contract. If you wish to share an apartment with another person, you must talk to your landlord first.
Note: Even if your family comes to visit, they may not stay for an extended period of time. You are advised to talk to your landlord when your family members or relatives visit your apartment.
4. Resident behavior
Tenants should not cause trouble with neighbors by making excessive noise (screaming, shouting, or talking) or having parties. You must follow the rules of the apartment.
5. Garbage classification
Each city or town has separate garbage classification rules and collection days for garbage disposal. You can find information about local garbage disposal at your local city hall or ward office.

4) Moving Out

1. Submit your moving out form
In most situations, you must notify your landlord or the real estate agency of your departure at least one or two months before the move-out date. First, please submit your moving out form to the real estate company. Please note that informing your building maintenance or security staff is not sufficient- you must notify the real estate agency in writing.
* If you submit your moving out form late, you will have to pay additional rent until your notice has been processed.
2. Please cancel electricity and other service contracts and throw away household appliances and oversized garbage as necessary.
3. You must be present during the room inspection upon moving out.
You must leave your room in the same condition it was when you moved in. You should clean your apartment and throw out garbage before the inspection. You should ask your real estate agency or landlord on how to return the apartment keys prior to your move-out.
4. Complete security deposit procedures.

5) Other

Other types of housing such as city and prefectural housing are also open to students periodically.
If there are any terms you do not understand related to real estate such as *reikin*, *shikikin*, or *koshinryo*, please make sure to check the terms as well as the contents of the contract at the time of contract.

(2) National Health Insurance and National Pension

1) National Health Insurance

1. What is National Health Insurance?

Treatment at medical institutions in Japan can be very expensive and can lead to a large financial burden if you do not have insurance. National Health Insurance is a health insurance program that covers part of the medical fees incurred due to illness or injury, by sharing costs between the national and local governments and individuals. If you present your national health insurance certificate to a medical facility, you only pay 30% of the medical fees applicable to the Health Insurance Law and the rest will be covered by the national health insurance.

*Please note that, in Japan, you are expected to pay your entire bill when you leave the hospital. There is no option to have the bill sent to an insurance company or to pay later. Even if you have health insurance from your home country, you will have to pay the bill up front, so enrolling in the NHI is mandatory, regardless of any other insurance you may hold.

2. Obligation to Enroll in National Health Insurance

According to the Ordinance of Enforcement of the Health Insurance Law (revised April 1st, 1986 and June 8th, 2004), all foreign residents who will stay in Japan for more than three months and have registered their address with the local government are required to join the National Health Insurance program. You cannot withdraw from this program at your own discretion.

3. Enrollment Procedures and Registration

- a) Bring your residence card and your passport to the insurance and pension division of your ward office or the health insurance division of your city hall to subscribe to the insurance.
- b) As you are eligible for the national health insurance program from the day you complete your basic resident registration, you must fill out the health insurance application form together with the basic resident registration (moving-in notice) at the city hall or ward office. If you do not enroll in the insurance program shortly after the basic resident registration, you may later be required to pay insurance premiums for the period in which you were not insured. Additionally, you will be responsible to pay in full any hospital fees billed during the period before you register for the insurance.
- c) International students who lived in Japan before they entered the university are required to follow procedures to register a change of address in their basic residence registration, by submitting a moving-in notice to the city hall or ward office in which they are going to reside, and join the national health insurance program. The national health insurance card issued by the city hall or ward office in which they previously resided cannot be used. Please note that you first have to submit a moving out notice in your previous city of residence before moving.
- d) You must notify the insurance and pension division of your ward office or the national

health insurance division of your city hall of the following below:

- When you make changes such as your name or address
→ Within 14 days of the change.
- When you leave Japan to study abroad, take a leave of absence, graduate from the university or complete your studies at the university
→ Before you leave Japan.

Note: If you fail to notify your city hall or ward office of your departure from Japan when you study abroad or take a leave of absence, you will not be able to have a new national health insurance card issued or may have to pay the premiums for the period in which you were not staying in Japan.

4. Insurance Premium and Application for Reduction of the Premium

Monthly insurance payments vary depending on municipality. You can receive a reduction on your insurance premium based on your gross income from the previous year (up to a 70 percent reduction if your gross income from the previous year is low). For details, please contact the division of insurance and pension or health insurance of your city hall or ward office. Please note that you may not be entitled to a reduction of the premium if you earn high income from part-time jobs. You must follow the routine procedures between January-March each year to receive a reduction of the premium. Your premium will not necessarily be automatically reduced because you do not have any income. You must apply to receive a reduction on the premium every year. You can acquire the application form concerning your income statement at your city hall or ward office.

5. High-Cost Medical Fees

If the medical fees you incurred during a given month exceed the payment limit, you are required to pay the full amount. However, if you apply for a refund of the amount that exceeds the payment limit through the national health insurance division of your city hall or ward office and your application is approved, the amount will be refunded to you at a later time. Please contact the city hall or ward office for details and procedures.

2) Programs to Promote Enrollment in the National Health Insurance Program

Ritsumeikan University and Kyoto City have introduced the following subsidy programs to reduce the burden of insurance premiums for international students.

* To receive these subsidies, you must apply for the programs every academic year. Also, those who have not paid their National Health Insurance fees are ineligible for subsidies.

1. Program to support international students by Ritsumeikan University's Parents Association of Student Education Assistance

Eligibility:	Undergraduate degree-seeking students enrolled in the association. Only one person per household is eligible. (Graduate students and short-term international students are not eligible for the program.)
Content:	Subsidy of a portion of National Health Insurance fees (5,000 yen/year)
Application period:	Applications are accepted twice per year (spring and fall)

	semester)	*Planned
--	-----------	----------

*The program will be announced via the international student mailing list, manaba-R, and the International Center webpage.

2. Kyoto City National Health Insurance Subsidy Program for International Students

Eligibility:	Self-financed international students living in Kyoto under the resident status of "Student"
Content:	Subsidy of a portion of National Health Insurance fees (700 yen/month)
Application period:	September/March
Conditions:	<ul style="list-style-type: none"> • Must have been enrolled in National Health Insurance in Kyoto City for 6 or more months • May not be receiving a scholarship from the Japanese government or equivalent

*Only Japan Post Bank (Yucho Ginko) handles the subsidy of this program. To receive the subsidy, please open an account at this bank.

*The programs and subsidy amount are subject to change.

*Please check manaba-R or the International Center situated at each campus for application procedures.

3) National Pension

Those living in Japan and who are between 20 to 60 years of age, including international students, are required by law to join the National Pension and pay the required insurance fees. However, payment of these insurance fees can be deferred by applying for the "Special Payment System for Students". For more detailed information, please go to the Japan Pension Service's webpage.

- (English) <http://www.nenkin.go.jp/international/english/index.html>
- (Japanese) <http://www.nenkin.go.jp/n/www/index.html>

(3) Social Security and Tax Number System (My Number System)

The "My Number System" is a new social security and tax number system that was instituted in January 2016, allowing for the efficient management of social security, tax, and disaster contingency planning information. The system also aims to better determine whether or not the personal information held within different government organizations pertaining to any specific individual matches throughout those organizations. The "My Number" is a unique 12-digit number assigned to each and every person who resides in Japan. Even if the address of an individual changes, they will continue to use the same 12-digit number so long as they remain in Japan.

When you receive your My Number notification, please make sure your name and address are correct, and keep the Notification Card (通知カード) (paper-type) in a safe place. Do not lose it. After January 2016, you will need your My Number when you go through the administrative procedures at city hall for move-in and move-out, procedures related to wages of part-time jobs, etc.

* The "My Number Individual Number Card Application Form" is also enclosed in the notification. If you go through the procedures for the Individual Number Card by mail or online, you will be issued an "Individual Number Card". The "Individual Number Card" is a plastic card which serves as a form of official identification. By combining your residence card with the My Number notification card (paper type), however, international students can identify themselves for administrative procedures. Therefore, applying for the issuance of your "Individual Number Card" is unnecessary.

* If you lose your Notification Card (paper-type) or Individual Number Card, go to the nearest police box or police station and submit a report of the loss. To reissue the Notification Card (paper-type) or Individual Number Card, consult with your city hall or ward office, bringing with you the "Notice of Lost Item Notification" or "Certificate of Theft Notification" that was issued by the police station.

* If you leave Japan due to a leave of absence or graduation and then later return to Japan for re-enrollment or recruitment, your "My Number" will be the same one you used prior to your departure. For this reason, be sure to complete the necessary procedures at the city hall or ward office where you live before you leave the country.

(4) In the Event of an Emergency

1) Theft, Violence or Assault

In the event of theft of your personal belongings, or injury inflicted upon you by another individual off campus, call 110. In case of loss or theft of your belongings, go to the nearest police station and submit a robbery report or a lost article report.

Note: If you lose your passport, report it to the local police immediately, obtain a copy of the lost item or theft report and contact the nearest embassy or consulate.

If you lose your residence card, you must request for the reissuance of a new card at your local regional immigration bureau. In such cases, a "Notice of Lost Item Notification" or "Certificate of Theft Notification" issued by the police station is required.

Once the emergency situation is taken care of, please report to the International Center, administrative office of your college/graduate school, and the Office of Student Affairs.

Theft has also been on the rise within the school. It only takes a moment for a thief to steal your personal belongings. It is your sole responsibility to protect all of your personal belongings, even on campus. Please keep your valuables with you at all times. Be sure to use a lock for your bicycle as the number of bicycle thefts on campus is on the rise. If you are the victim of theft on campus, please report to the International Center, administrative office of your college/graduate school or the Office of Student Affairs.

2) Serious Illness or Injury

In the event of a sudden illness or injury, call 119. If you are unable to call 119, ask someone nearby to call for you, and an ambulance will come to take you to the hospital. Once the emergency situation is taken care of, please contact the International Center, administrative office of your college/graduate school, and Office of Student Affairs. There are operators who can speak Japanese, English, Chinese, Korean, Spanish and Portuguese.

3) Traffic Accidents

Be very aware of your surroundings while commuting and in your everyday life to prevent traffic accidents. Those who are found to be at fault for an accident may not be able to continue their studies. Be sure to purchase adequate insurance.

1. Receiving Treatment

If someone is seriously hurt in a traffic accident, call 119 to receive emergency attention. Whether or not you think you are injured, you are recommended to go to a hospital and receive treatment. In some cases, the pain from an injury such as whiplash can increase as time goes on and permanent damage may occur. There are operators who can speak Japanese, English, Chinese, Korean, Spanish and Portuguese.

2. Reporting to the Police and Filing an Accident Report.

a) Make a note of the address, name, and phone number of the other party involved in the accident.

b) Call 110 and request the presence of a police officer.

The police will come to investigate, file a report, and use this report as an important

document to help decide who is at fault.

3. Medical Fees and Compensation Negotiation

After injuries are treated, both parties involved in the accident start the negotiations on medical fees and compensation for damage. As such negotiations can often be very complicated, it is best to consult with a Japanese person whom you can trust, or contact the International Center, administrative office of your college/graduate school, or the Office of Student Affairs. Also, please have a full understanding of what insurance you are covered by (study abroad insurance, personal liability insurance, medical-care insurance, etc.).

Local governments also offer traffic accident consultation centers as listed below:

Place	Telephone
Kyoto City Consumer Affairs Center (Traffic Accident Consultation)	075-256-2140
Kyoto Prefecture Traffic Accident Consultation Center	075-414-4274
Shiga Prefecture Traffic Accident Consultation Center	077-528-3425
Ibaraki City Consultation Center	072-620-1603

4) Natural Disasters

In the event of a natural disaster such as an earthquake, typhoon, flood, or fire, you must be prepared to protect yourself. In such an event, it is best that you stay calm and be aware of your surroundings and be very cautious when moving around. Please refer to the Disaster Preparedness Handbook.

In the event that you are directly affected by a disaster, it may be possible to receive JASSO Support Funding. JASSO Support Funding is emergency funding for the purpose of providing support to students whose accommodation has sustained significant damage (destruction of half or greater of the structure) as a result of a natural disaster etc., and who, as a consequence, have suffered disruption to their academic lives. The system seeks to support students in reclaiming their student lives so that they may resume their education without further delay. The planned funding amount is 100,000 JPY (repayment unnecessary). Applications are accepted at the Office of Student Affairs.

5) Medical Facilities

1. Healthcare Providers Near Campus

To learn more about the healthcare providers near Ritsumeikan University, please refer to the health handbook available at the Medical Service Center.

2. Hospitals that Provide Assistance in Foreign Languages

a) Kyoto Prefecture

• Please see the Kyoto Health Care Yorozu Net.

<http://www.nfjs.pref.kyoto.lg.jp/ap/qc/men/pwtptmenult01.aspx>

b) Shiga Prefecture

• Please see the Shiga Prefecture Medical Information website:
<https://www.shiga.iryō-navi.jp/qcport/kenmintop/>

c) Osaka Prefecture

• Please see the Osaka Medical Facilities Information System.
<http://www.nmfis.pref.osaka.jp/apcq/qc/men/pwt/pmnu101.aspx>

The following information center can provide information on hospitals with foreign language speaking staff.

Contact	TEL	Languages	Day of Week	Hours
AMDA International Medical Information Center	03-6233-9266	English, Chinese, Korean, Thai, Portuguese, Spanish *Language availability varies by day, so please check in advance.	Monday - Friday	10:00 - 15:00

3. Interpreters for Medical Services

Some hospitals in the Kyoto and Shiga area are able to reserve interpreters to assist foreigners who are not native speakers of Japanese to receive medical services. This system is free of charge, but reservations are required. Please refer to the website below for information on applicable hospitals and languages:

Center for Multicultural Society Kyoto: <http://www.tabunkakyoto.org>

In addition, you may also consult the above AMDA International Medical Information Center.

4. Emergency Hospitals/Medical Clinics Open on Holidays:

If you are ill or injured when other hospitals/clinics are closed, please use the emergency facilities below:

a) Kyoto Prefecture

Name	Address/Telephone	Specialty
Kyoto City Emergency Clinic/Hospital	Higashi Toganoocho Nishinokyo, Nakagyo-ku, Kyoto City Kyoto Medical Association Hall 1F TEL: 075-354-6021	Internal Medicine Ophthalmology Nose/Ear/Throat Care

b) Shiga Prefecture

Name	Address/Telephone	Specialty
Konan Large Area Emergency Clinic/Hospital	In front of Saiseikai Shigaken Hospital TEL: 077-551-1599	Internal Medicine

c) Osaka Prefecture

Name	Address/Telephone	Specialty
Ibaraki City Hoken Iryo Center Emergency Clinic/Hospital	Kasuga, Ibaraki City Ibaraki City Hoken Iryo Center TEL: 072-625-7799	Internal Medicine Dental

<Note>

- If you cannot speak Japanese, please use an interpreter when going to a hospital or clinic.
- Consultation times vary depending on the medical specialty. Please check the consultation time on the website or elsewhere before you go to the hospital.
- There are other emergency hospitals and clinics besides the hospitals and clinics listed here. Please look for them online. As some websites are not up-to-date, please call the hospital or clinic before you go.

See the health handbook provided by the Medical Service Center for more information regarding health and medical related issues.

(5) Finding Employment

1) Employment in Japan

When international students look for employment, typically, there is no separate system for recruiting international students, so they go through the same process as Japanese students. Japanese businesses typically hire recent graduates who complete their university degrees in March and start working in April, so the recruiting period is fixed (even if graduating in September, the general rule is to begin working the following April). The effects of globalization have opened up greater opportunities for international students to work in Japan, and many international graduates of Ritsumeikan University have been hired by Japanese enterprises. However, the hiring process and the corporate culture in Japan is unique and may differ from processes you are accustomed to in your country, so you must educate yourself about the Japanese process in advance.

Requirements for students who wish to seek employment in Japan

1. Understand the job-hunting schedule

Job-hunting and application schedules in Japan are limited to certain times. Please be sure to review the schedule ahead of time and search for your job during the appropriate period. In general, third year undergraduate students and first year Master's students participate in internships in summer and start preparations for job hunting from fall. (For students who will graduate in September, preparations should start from the fourth year (undergraduate) or second year (Master's)).

Job-Hunting Schedule																
	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	Jun.	Jul.	Aug.	Sept.	Oct.~	
University Schedule	Summer vacation	Classes				Spring vacation		Classes			September Graduation Ceremony					...
Job-Hunting Schedule	Summer internships	October~ Preparing for job hunting activities (self-analysis, researching industries/companies, preparing for written exams)						March~ Beginning of job-hunting activities (company information sessions, written exams, submitting job applications, etc.)								...
		Fall/winter/spring internships							June~ Interviews, tentative-unofficial offers							

*For students graduating in September 2020, March 2021

2. Develop Japanese language ability

Almost all employment opportunities will demand a high level of Japanese language ability. In addition to the minimum requirement of passing the Japanese Language Proficiency Test (JLPT) Level N1, companies will look for you to have business Japanese and English language ability. Be proactive in communicating with others during your stay in Japan in order to learn how to express yourself in Japanese.

3. Have a career plan

Japanese companies that are considering hiring international students will want to know your career plan, including: why you want to work in a Japanese company; how long you intend to work in Japan; whether you intend to return to your home country in the future, etc. You should plan your future career path and take steps to advance that plan during your time as a student.

4. Understand corporate culture and hiring procedures in Japanese businesses

Japanese corporate culture and hiring procedures may vary from your home country, such as a short-term contract as a prerequisite for long-term employment. Job hunting events and guidance sessions are held both inside and outside the university. The sooner you gather such information, the better your chances will be while job-hunting.

5. Make the most of your life as a student

During your interviews, you will probably be asked, "As a student, what did you put the most effort into?" While keeping up with your courses, we recommend getting involved in extracurricular activities such as circles or clubs, volunteer activities, or a part-time job.

2) Job Search Assistance

The employment process in Japan consists of application screenings, written exams, and interviews. Preparation for each step is necessary to increase your chances of securing a job. We encourage all job seekers to use the variety of resources available at the Office of Career Services on campus. (Monday- Friday, 9:00- 17:00 / Closed from 11:30- 12:30 and on Wednesday mornings)

Kinugasa	Kenshinkan (研心館), 1F
BKC	Prism House (プリズムハウス), 2F
OIC	Building A 1F, AS Office (A 棟 AS 事務室),

Career Center Webpage:

➤ (English) <http://www.ritsumei.ac.jp/career/global/eng/>

Services offered at the Career Center:

(Based on AY 2019 activities, may change after AY 2020)

- Orientation for new students (start learning about the preparation required for job hunting in Japan, beginning in your first year of studies)
- Career guidance for international students (recommended for 3rd year undergraduate students)
- Consultations and workshops for international students by other international students who have found jobs in Japan
- Seminar on filling out Entry Sheets for International Students aiming to find work in Japan.
- On-campus company information sessions and interviews for international students
- Employment search system on CAMPUSWEB for international students
- Consultations about career paths, etc.

3) Changing your status of residence

Unlike Japanese students, international students must change their status of residence from "Student" to another status when they begin working. If your field of study differs from your field of employment, your status of residence may not be approved. You should consider how your studies will relate to your work after you graduate and look for employment accordingly.

4) Job Hunting in Japan after Graduation

In order to continue job-hunting in Japan after graduating or completing your course, students

need to change their visa status from "Student" to "Designated Activities". In order to change your status, you will need a recommendation letter from the University which is only issued to students who successfully pass screening. At Ritsumeikan University we have two periods per year during which we accept applications for recommendation letters. After stringently screening applicants' study and lifestyle demeanor, job-hunting activities so far, and future chances of finding a job, recommendation letters will be issued to applicants deemed suitable. (Recommendation letters are not issued outside of the application periods or to students who have already graduated.)

In addition, to apply for a recommendation letter, attendance of the guidance explaining this system is mandatory, so students who are expecting to graduate or complete their course should attend the guidance held during the semester. Students will be informed of the guidance schedule (Spring Semester: late-July; Fall Semester: late-January) by manaba+R and via the International Students' mailing list.

(6) Important Procedures When Leaving Japan

1) Notification procedures concerning separation from your accepting organization

If you leave the organization where you are conducting permitted activities due to graduation or a leave of absence, you must notify the Immigration Bureau within 14 days in accordance with the procedures set by the Ministry of Justice. Additional information and necessary documents can be found on the Immigration Bureau website.

<URL>

<http://www.immi-moj.go.jp/english/tetuduki/kanri/shyori/18.html>

In addition, notify the immigration officer at the airport that you will be returning to your home country and hand over your residence card.

2) Notice of Moving Overseas and Returning National Health Insurance Card

Before returning to your home country, you must submit a Notice of Moving Overseas (海外転出届) to the city hall or ward office with jurisdiction over the area in which you have been residing. Please also complete procedures to withdraw from National Health Insurance (approximately 1 week before departure). Show your airline ticket as proof of you leaving Japan and have the staff member at your local city hall or ward office confirm the situation regarding insurance fee payments up until your planned date of departure. (You will receive a statement for any unpaid fees. Please pay the fees before departure.) By completing these procedures, you can receive insurance coverage up until you leave Japan. Please bring your residence card, health insurance card, and documents pertaining to your date of departure to your city hall or ward office. Return your health insurance card according to the instructions given by the staff member. If you do not return your health insurance card, you will continue to be billed for health insurance fees, so please be sure to complete the necessary procedures before leaving Japan.

3) Mail

When you move, you are required to submit a notice of change of address to the post office. In addition, please tell your friends and part-time work your new contact details beforehand so that you can be reached after leaving Japan. It is not possible to have mail forwarded overseas. After submitting the notice, mail will no longer be delivered to your old address.

4) Student ID Card

When you graduate or withdraw from Ritsumeikan University, you will be required to return your student ID card. Your student ID card contains your student ID number and affiliated college or graduate school. This information may be required when you contact Ritsumeikan University in the future, so you should make a photocopy or take a photo of your ID card before returning it and keep the copy/photo in a safe place.

5) Ritsumeikan University Co-op Card

Please return your Co-op Card to the Co-op Counter on your affiliated campus before leaving Japan. The initial deposit you paid when joining the Ritsumeikan University Co-op will be refunded to you. If you have any money remaining on your card, be sure to use the remaining amount at a Co-op shop/cafe/tertia before completing withdrawal.

procedures.

6) Other

Be sure to cancel your cell phone contract and housing rental agreement before leaving Japan to return to your home country. If you leave Japan without canceling such contracts and fail to make payments, you may be contacted in your home country. Ritsumeikan University will take no responsibility regarding such matters. Similarly, be sure to return any rental videos or books borrowed from libraries.

(7) Helpful Websites

The internet is a great resource to find useful information for international students. Below are various websites that might help you.

Kyoto Area	
Kyoto Prefectural International Center:	https://www.kpic.or.jp/english/
The Consortium of Universities in Kyoto	http://www.consortium.or.jp/english
Kyoto City International Foundation	http://www.kcif.or.jp/en/
Shiga Area	
Shiga Intercultural Association for Globalization	http://www.s-i-a.or.jp/language/english/index.htm
Kusatsu International Friendship Association	http://kifa-japan.org/
Osaka Area	
Osaka International House Foundation	http://www.ih-osaka.or.jp/english/
Osaka Exchange Student Network	http://www.osaka-ryugakusei.net/
Osaka Foundation of International Exchange	http://www.ofix.or.jp/english/index.html

2020 年度 立命館大学外国人留学生ハンドブック
AY2020 Ritsumeikan University International Student Handbook

発行 立命館大学国際教育センター

Issued by the Ritsumeikan University International Center

立命館大学衣笠国際教育センター

〒603-8577

京都府京都市北区等持院北町 56-1

International Center at Kinugasa Campus

56-1 Toji-in Kitamachi, Kita-ku, Kyoto 603-8577

TEL: 075-465-8230 FAX: 075-465-8160

E-mail: ru-inter@st.ritsumei.ac.jp

立命館大学 BKC 国際教育センター

〒525-8577

滋賀県草津市野路東 1-1-1

International Center at Biwako-Kusatsu Campus

1-1-1 Noji-higashi, Kusatsu, Shiga 525-8577

TEL: 077-561-3946 FAX: 077-561-3956

E-mail: ru-inter@st.ritsumei.ac.jp

立命館大学 OIC 国際教育センター

〒567-8570

大阪府茨木市岩倉町 2-150

International Center at Osaka Ibaraki Campus

2-150 Iwakura-cho, Ibaraki, Osaka 567-8570

TEL: 072-665-2070 FAX: 072-665-2079

E-mail: ru-inter@st.ritsumei.ac.jp

Website: <http://en.ritsumei.ac.jp/current-students/>



R RITSUMEIKAN
UNIVERSITY